

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

(平成21年度施策報告)

中頓別町教育委員会

はじめに

平成20年4月から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）」の一部改正が施行され、教育委員会は毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進と町民への説明責任を果たすため、法第27条の規定に基づき、平成21年度の執行状況について点検・評価を行ったものです。

中頓別町教育委員会は、今後も町民の皆様の生涯にわたって学び続ける教育環境の整備・充実を図るとともに、子どもたちの「生きる力」を育む教育の推進に努めてまいります。

1. 教育委員会議の開催状況
2. 教育委員会の活動状況
3. 附属機関の会議の開催状況
4. 附属機関その他機関の委員名簿
5. 主要な施策に基づく点検・評価
6. 教育委員会の事務の執行状況

生涯教育・学校教育・社会教育における執行状況（別紙資料）

平成22年8月

中頓別町教育委員会

教育委員会委員

職 名	氏 名
委 員 長	石 井 英 正
委員長職務代理者	内 田 貞 代
委 員	木 内 彰
教 育 長	米 屋 彰 一

1. 教育委員会議の開催状況

教育委員長 石井英正、職務代理者 内田貞代、委員 峰友 武(10月まで)、委員 木内 彰(11月から)、教育長 米屋彰一

開催日	議 案	協議報告事項
4月 17日	議案第1号 中頓別町学校統合審議会委員の任命について 議案第2号 中頓別町特別支援連携協議会委員の委嘱について 議案第3号 中頓別町学校給食運営委員会委員について	1) 中頓別町議会「所管事務調査報告書」地方教育行政法について 2) 文部科学省が実施した全国体力・運動能力・運動習慣等調査の概要について 3) いじめ等に関する各学校の状況報告について 4) 教育委員会の定数について
5月 20日	議案第1号 委員長の互選について 議案第2号 委員長職務代理者の指定について 議案第3号 補正予算について 議案第4号 平成21年度就学援助の認定について 議案第5号 公有財産の所管替えについて 議案第6号 懲戒処分等について	1) 教育委員会事務局の庁内移動について 2) 開拓100年記念事業に伴う教育委員会関連予算について 3) いじめ等に関する各学校の状況報告について 4) 各学校の運動会の日程について 5) 平成21年度教科書展示会について 6) 中頓別中学校理科研究授業について
6月 18日	議案第1号 教育財産の所管替えについて	1) 平成21年度そらや自然学校経営計画について 2) いじめ等に関する各学校の状況報告について 3) 第46回北海道市町村教育委員研修会について 4) 位記・勲章等の伝達について
6月24 日(臨)	議案第1号 補正予算について	
7月 16日	議案第1号 中頓別町教育委員会外部評価委員会設置要綱について	1) 北海道町村教育委員会連合会功労者表彰の伝達について 2) いじめ等に関する各学校の状況報告について 3) 中頓別町教育委員会委員定数について 4) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書を提出した後の議会での報告者について
8月 14日	議案第1号 1) 平成22年度に使用する小学校用教科用図書の採択について 2) 平成22年度に使用する中学校用教科用図書の採択について 3) 学校教育法附則第9条の規定に基づく図書の採択について 議案第2号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について 議案第3号 教育委員会事務局職員の人事について	1) 中頓別町学校給食センター厨房改修工事について 2) 中頓別中学校学校評議員会報告について 3) いじめ等に関する各学校の状況報告について 4) 平成21年度管内市町村教育委員研修会について 5) 学校訪問について
9月 8日	議案第1号 補正予算について 議案第2号 平成21年度全国学力・学習状況調査結果の公表に係る対応について	1) いじめ等に関する各学校の状況報告について 2) 平成21年度管内市町村教育委員研修会について
10月 26日	議案第1号 中頓別町教育委員会行政組織規則の一部改正について 議案第2号 平成22年度宗谷管内公立小中学校教職員人事異動に係る調書の作成について 議案第3号 平成21年度中頓別町文化スポーツ表彰の決定について	1) 中頓別町教育委員の任期満了について 2) 中頓別町教育委員の任命について 3) 事務局職員の退職について 4) 全国学力・学習状況調査結果の分析について 5) 小・中学校の新型インフルエンザ罹患状況について

開催日	議 案	協議報告事項
		6) いじめ等に関する各学校の状況報告について 7) 平成21年度中頓別町文化祭について 8) 平成21年度中頓別町学校経営研修会について 9) 学校訪問について
11月 19日		1) 教育長専決処分の報告について 2) いじめ等に関する各学校の状況報告について 3) 学校訪問について 4) 学校給食センターの改修について
12月 10日	議案第1号 補正予算について	1) 学校ICT環境整備事業の入札結果について 2) 地域活力基盤創造交付事業によるスクールバスの購入について 3) いじめ等に関する各学校の状況報告について 4) 寿スキー場スキーパトロール隊の依頼について
1月 18日	議案第1号 校務用コンピュータ導入に伴う取扱い規程等の制定について 議案第2号 平成22年度全国学力・学習状況調査における抽出対象とならなかった学校の「希望利用」について	1) スクールバス購入事業の入札結果について 2) 中頓別中学校評議委員会報告について 3) 町民センター等社会教育施設の料金等の見直しについて
2月 17日	議案第1号 平成21年度補正予算について 議案第2号 平成22年度教育行政執行方針について 議案第3号 平成22年度予算について	1) 自治記念式表彰候補者の推薦について 2) いじめ等に関する各学校の状況報告について 3) 地域ふれあい子どもキャンプ事業に関する監査委員からの指摘について 4) 社会教育施設等の条例・規則の改正について
3月 2日 (臨時)	議案第1号 中頓別町民センターの設置及び管理等に関する条例の全部改正について 議案第2号 小頓別多目的集会施設の設置及び管理等に関する条例の全部改正について 議案第3号 中頓別町創作活動施設の設置及び管理等に関する条例の全部改正について 議案第4号 中頓別町体育館設置使用条例の全部改正について 議案第5号 中頓別町青少年柔剣道場設置及び管理等に関する条例の全部改正について 議案第6号 中頓別町郷土資料館設置及び管理等に関する条例の全部改正について 議案第7号 中頓別町山村水泳プールの設置及び管理等に関する条例の制定について 議案第8号 中頓別ふれあいスポーツ広場設置及び管理等に関する条例の制定について 議案第9号 中頓別町営寿スキー場設置条例の全部改正について 議案第10号 中頓別町青少年研修センターの設置及び管理等に関する条例の全部改正について 議案第11号 中頓別町テニスコート設置及び管理等に関する条例の全部改正について 議案第12号 中頓別町ゴルフ練習場設置及び管理等に関する条例の全部改正について 議案第13号 中頓別町寿パークゴルフ場設置及び管理等に関する条例の全部改正について 議案第14号 中頓別町立学校使用条例の全部改正について	
3月 19日	議案第1号 公有財産の移管について 議案第2号 中頓別町学校統合審議会委員の任命について 議案第3号 中頓別町学校評議委員の委嘱について	1) 自治記念式表彰者の決定について 2) 通学用スクールバスを活用したこども館の幼児送迎について 3) 「なかとんべつカレッジ」について

開催日	議 案	協議報告事項
	議案第4号 中頓別町立小・中学校学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について 議案第5号 中頓別町特別支援教育連携協議会委員の委嘱について 議案第6号 中頓別町子ども読書プランの策定について 議案第7号 中頓別町民センター管理運営規則の制定について 議案第8号 中頓別町民センター運営審議会規則を廃止する規則の制定について 議案第9号 小頓別多目的集会施設管理運営規則の制定について 議案第10号 中頓別町創作活動施設管理運営規則の制定について 議案第11号 中頓別町体育館管理運営規則の制定について 議案第12号 中頓別町青少年柔剣道場管理運営規則の制定について 議案第13号 中頓別町郷土資料館管理運営規則の制定について 議案第14号 中頓別町山村水泳プール管理運営規則の制定について 議案第15号 中頓別ふれあいスポーツ広場管理運営規則の制定について 議案第16号 中頓別町寿スキー場管理運営規則の制定について 議案第17号 中頓別町青少年宿泊研修センター管理運営規則を廃止する規則の制定について 議案第18号 中頓別町テニスコート管理運営規則の制定について 議案第19号 中頓別町ゴルフ練習場管理運営規則の制定について 議案第20号 中頓別町パークゴルフ場管理運営規則の制定について 議案第21号 中頓別町立学校施設の使用に関する規則の制定について 議案第22号 中頓別町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第23号 中頓別町立学校施設使用規程を廃止する規程の制定について	4) いじめ等に関する各学校の状況報告について 5) 中頓別小学校学校評議員会報告について 6) 中頓別中学校学校評議員会報告について 7) 平成22年度当初教職員人事異動の内示について 8) 平成21年度中頓別町学校経営研修会について

※ 傍聴者 6月定例会議 1名、7月定例会議 1名

2. 教育委員会の活動状況

(1) 学校訪問について

実施月日 平成21年12月10日10時30分から 中頓別小学校 委員4名、事務局1名
 実施月日 平成21年12月10日13時30分から 中頓別中学校 委員4名、事務局1名

(2) 教育委員研修について

① 第46回北海道市町村教育委員研修会(札幌市)

実施月日 平成21年7月8日～9日(故熊崎説三氏の死亡叙勲伝達、白老町) 委員4名、事務局1名

② 管内教育委員研修会(浜頓別町)

実施月日 平成21年10月5日～6日 委員3名、事務局1名

(3) 教育委員会に関わるその他の活動(教育委員が出席した活動等)

月	各種行事・大会等
4月	自治記念式、こども園入園式、小中学校入学式、浜頓別高校入学式、着任教職員辞令交付式
5月	スポーツ少年団結団式、クリーン作戦、中頓別中学校運動会
6月	戦没者慰霊祭、鍾乳洞まつり、中頓別小学校運動会
7月	中頓別町夏期巡回ラジオ体操会・みんなの体操会
8月	中頓別小学校タイムカプセル開封
10月	中頓別町開拓100年・町制施行60周年記念式典、中頓別小学校創立100周年記念式典、中頓別小学校学芸会、中頓別中学校学校祭、寿大学学校祭、町民文化祭、文化スポーツ賞授賞式
11月	町民文化祭、天北厚生園クリスマスパーティー
1月	新年交礼会、平成22年成人式
3月	町民スキー大会、浜頓別高校卒業式、小中学校卒業式、スポーツ少年団解団式、寿大学卒業式、こども園卒園式

3. 附属機関の会議の開催状況

(1) 社会教育委員会議

開催日	内 容
10月14日	・文化スポーツ表彰の適否について
1月15日	・教育委員会からの諮問事項の協議について
3月18日	・平成21年度社会教育事業について ・平成22年度社会教育事業について ・町民講座「なかとんべつカレッジ」について

(2) 体育指導委員会議

開催日	内 容
7月9日	・町民ソフトボール大会の開催について ・巡回ラジオ体操みんなの体操会、夏休みラジオ体操会について
9月3日	・町民駅伝競技大会について
12月25日	・ジュニアアルペン競技大会について ・冬期スポーツ事業について
2月18日	・町民スキー大会運営について
3月26日	・平成21年度事業報告について ・平成22年度事業計画について

(3) 文化財保護委員会議

開催日	内 容
3月30日	・会長、副会長の選出について ・兵安地区砂金掘跡現地調査について

(4) 町民センター運営審議会

開催日	内 容
1月14日	教育委員会からの諮問事項の協議について

4. 附属機関その他機関の委員名簿

附属機関

- (1) 社会教育委員兼文化スポーツ賞表彰選考委員(平成21年4月1日～平成23年3月31日) 13名
米田 泰規(社教団体)、石井 佳美(学識経験)、水澤 清二(学識経験)、角川 拓雄(学識経験)、川尻 洋(社教団体)、藤田 功(学校長)
高山 哲也(学識経験)、側 貢(学識経験)、門野 レイ子(学識経験)、福島 靖弘(学識経験)、米津 和美(学識経験)、細川 洋子(学識経験)、橋本 壽子(学校長)
- (2) 体育指導委員(平成21年4月1日～平成23年3月31日) 10名
桜田 教昭(サッカー)、中嶋 稔幸(スキー)、伊藤 明美(スキー)、丸山 博光(柔道)、小原 利春(軽スポーツ)、丸田 史代(クロカン)
福島 靖弘(バスケット)、古谷 裕一(スポーツ少年団)、椎名 誠(学校推薦)、山本 民(学校推薦)
- (3) 文化財保護委員(平成21年4月1日～平成23年3月31日) 5名
大場 豊、真鍋 勝司、三浦 陽一、川尻 洋、上浦 裕司
- (4) 町民センター運営審議会委員(平成21年4月1日～平成22年3月31日) 10名
細谷 陽一、奥村 新一、内田 良恵、藤井美津子、川尻 登喜、高橋 憲一、藤田 功、橋本 壽子、藤田 淳麿、西浦 京子
- (5) 学校統合審議会委員(平成20年4月1日～平成22年3月31日) 6名
橋本 壽子(小学校長)、藤田 功(中学校長)、細谷 陽一(中小PTA会長)、古谷 裕一(中中PTA会長)、水澤 清二(学識経験)、高橋恵美子(学識経験)
- (6) 学校給食運営委員会委員 7名
橋本 壽子(小学校長)、藤田 功(中学校長)、細谷 陽一(中小PTA会長)、古谷 裕一(中中PTA会長)、高橋 憲一(学識経験)、高橋恵美子(学識経験)
遠藤 義一(町行政機関職員)

その他機関

- (1) 就学指導委員会委員(平成21年4月1日～平成23年3月31日) 10名
藤田 功(中学校長)、荒木 謙蔵(民生委員会長)、住友 和弘(国保病院長)、橋本 壽子(小学校長)、高橋恵美子(主任児童委員)、井村 雅彦(小学校教頭)
井野 順子(特別支援教育担当)、竹内 義博(保健福祉課長)、前田 冷子(保健福祉G主査)、平中 静江(こども館長)
- (2) 学校評議員(平成21年4月1日～平成22年3月31日)
中頓別小学校 5名 丸山 博光、田辺 毅、細谷 陽一、高橋恵美子、村山 義明
中頓別中学校 5名 伊藤 祐一、杉木 誠吉、佐藤 文一、古谷 裕一、桑原 正美
- (3) 特別支援教育連携協議会委員(平成20年4月1日～平成22年3月31日) 15名
住友 和弘(国保病院長)、大場 弘(社会福協議会長)、荒木 謙蔵(民生委員協議会長)、千葉 辰雄(厚生園施設長)、七海 敏勝(手をつなぐ親の会)
米屋 彰一(教育長)、橋本 壽子(小学校長)、藤田 功(中学校長)、井村 雅彦(小学校教頭)、田澤 満(中学校教頭)、平中 静江(こども館長)
前田 冷子(保健福祉G主査)、柴田 弘(教育委員会)、藤井 富子(教育委員会)、笹原 等(教育委員会)

5. 主要な施策に基づく点検・評価

(1) 点検・評価の項目

点検・評価は平成21年度教育行政執行方針に基づく具体的な推進施策としています。

1 生涯学習の推進

ア. さまざまな学習ニーズに応えるため イ. 活動拠点とした生涯学習の整備 ウ. 「中頓別町まちづくり・生涯学習推進計画」に基づく生涯学習の整備

2 学校教育の推進

ア. 学力の向上 イ. 豊かな心の育成 ウ. 健やかな体を育む エ. 信頼される学校づくり オ. 幼児教育 カ. 特別支援教育

3 社会教育の推進

ア. 社会教育による学習機会の充実 イ. 文化活動の継続 ウ. 文化財の保護・活用 エ. スポーツの推進 オ. 社会教育施設、スポーツ施設の活用

(2) 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、施策・事業の内容と実績、成果と課題等を示しています。

内部による点検・評価と、学識経験を有する者の外部評価を行っています。

(3) 点検・評価結果の構成

1 評価対象

「平成21年度中頓別町教育行政執行方針」の主要な施策3項目ごとに点検・評価を行っています。

2 事業内容・実績等

各項目の目標達成に向けて、主に取り組んだ事業内容、実績等を示しています。

3 成果・課題等

事業の実施に伴い、教育上効果があった内容、成果および課題等を示しています。

4 内部評価 第1回 平成22年7月14日、第2回 平成22年7月26日

目標に対し、取り組みの進捗状況などをふまえ、1～4の4段階で評価を行っています。

(評価判断基準) 4・・・目標通り又は目標以上の成果が得られた。

3・・・概ね目標が達成できた。

2・・・課題を残し、目標も十分達成できなかった。

1・・・具体的に成果がなかった。

5 外部評価 平成22年7月29日

目標に対し、取り組みの進捗状況などを踏まえ、学識経験を有する者が、総合的な意見として評価を行っています。

外部評価委員会 委員長 米津英男、副委員長 朝日忠則、委員 佐藤一彌、田邑正憲、高橋恵美子 5名

□ 評価結果

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)	
1 生涯学習の推進 人々が生涯にわたって行なう学習活動で、町民のみならず誰もがあらゆる機会に、あらゆる場所において学び自己実現を図りながら生きがいのある人生をおくるとともに、その成果が適切に評価され地域づくりに生かすことができる学習社会の実現を目指す。	1 さまざまな学習ニーズに応えるため		2.8	・広報や旬報で情報提供されているし、さまざまなものに取り組んでいる。	
	(1) 各種体験活動、文化・スポーツ活動等の場の提供 子どもから高齢者まで各期にふさわしい事業を組み立て展開しました。具体的には、3. 社会教育の推進の中で述べています。	多くの活動の場の提供を心がけ事業を展開してきましたが、内容によっては参加者が少なく、固定化しているなどの課題もありますので、町民のニーズを把握し、内容の充実に心がけます。	2.8		
	(2) 広報なかとんべつ「生涯学習だより・ホットな情報通信」による学習情報の提供 生涯学習情報として事業報告やAETの徒然日記などを5月から3月まで9回掲載し、情報提供に努めました。	広報紙には、計画どおり情報の提供ができましたが、活動の紹介が主な内容となっているため、創意工夫し内容の充実に努めます。	2.8		
	2 活動拠点とした生涯学習の整備			3.3	・町民センターの機能が十分であるか疑問を感じる。管理者はいるが教育委員会事務局が移動したので、入りにくい感じがするし、冬期間のテレビでの議会傍聴者が寒くて帰る人がいる。冬期間のロビーの機能(暖房)を考慮してもらいたい。経費を節減できたから良いとは言えない。 ・そうや自然学校の活動は、旬報でもよく載せられているし、町外との交流も盛んに行われている。 ・図書室では、最近、戦争体験の本も購入されている。地方自治体の紹介の本など参考となる。また、政治家の自叙伝など色々な本も増えており結構なことである。
	(1) 町民センター 町民の生涯学習活動の場として、文化団体(詩吟、茶道、カラオケ等)や社会教育事業、講演や学習会等の活動が展開されました。使用状況は、昨年度と比較して、件数は減少しましたが、人数では上回りました。昨年、集中温水暖房の老朽化に伴い、個別の暖房機に変更した結果、その効果が現れ経費の大幅な節減が図られました。	活動拠点の場としての各団体・サークルの使用が少ないため、意向を把握し、使いやすい施設を目指します。温水暖房を廃止したことにより、大幅に燃料費の節減を図ることができましたが、大ホールは広いため、冬期間の厳寒期の使用者にやや寒い思いをさせることはあります。また、使用料金等の見直しの声があり、次年度に向けての見直しを行いました。	3.3		
	(2) 図書室 読書活動の場として有効に機能しています。年間使用は、一般で延べ2,000人、小中高生で2,200人、昨年に比べ使用者や本の貸出冊数がやや減少しています。開拓100年・町制施行60周年記念事業で、720セットの図書、木製書架の購入やオーサージット講演会を開催し、整備や意識啓発を行いました。平成22年3月には、中頓別町子ども読書プランも作成しました。	開拓100年・町制施行60周年記念事業で図書や書架等の整備をさせていただき、開放的な空間とより親しみやすい環境を整えることができました。今後は、広報紙などを活用し、図書室の取り組みを紹介するとともに、絵本ボランティアの皆さんの協力を得、読書活動の推進に努めます。また、中頓別町子ども読書プランを平成22年3月に策定しましたので、関係機関・団体が連携して、読書活動を支援していきます。	3.3		
	(3) そうや自然学校 まちづくり・生涯学習活動の拠点として、「人と自然」、「人と人」、「人と社会」がつながる「学びの場」の提供を目指し、中頓別体験ツアー、子どもたちへの体験活動、森と癒し森林療法、人が共に育つ場づくり、中頓別ツーリズムの5つを柱として、経営計画にもとづき事業を展開してきました。	そうや自然学校が関わった事業は、自然学校独自事業として22回、参加者町内247人、町外49人、観光協会との連携事業16回、町内85人町外60人、認定こども園事業5回126人、子ども館事業1回30人、小中学校5回95人、町内団体等3回114人、町外からの受け入れ11回町内22人・町外264人で年間事業66回、1,092人が参加され、そのうち町外の方も373人と参加者の約4割となっています。	3.3		
	3 [中頓別町まちづくり・生涯学習推進計画]に基づく生涯学習の整備			3.0	・生涯学習で関係機関の連携がきちっとなっているのか見えてこない。それぞれバラバラに実施されているように感じる。
	(1) 推進チーム会議の開催 推進チームを再編成し、会議を4回(9月30日、1月22日、2月12日、3月5日)開催しました。	推進チームの役割を認識し、定期的(年6回)に会議を開催し、情報交換、課題等の協議する場として、継続的な会議の開催に努めます。	2.8		

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
	<p>(2)まなびネットの活用 町内の様々な団体等が取り組む学びを登録し、講座として町民に提供し、まちづくり・生涯学習を推進するしくみとして「なかとんべつカレッジ」を平成22年度開設するための準備を行ないました。 登録数－8分野 55講座</p>	<p>「なかとんべつカレッジ」は、行政関係の事業が中心に登録されています。平成22年度に向け、町内の各団体と協議しながら、講座を少しずつ増やし、町民の学べる場を提供していきます。</p>	3.0	
	<p>(3)フォーラムの開催 平成20年度と同様に、学校支援地域本部事業成果報告会と兼ねて開催しました。 日時－平成22年2月26日 内容－報告、各学校事例発表、講話</p>	<p>フォーラムでは、事務局から学校支援地域本部の取り組み報告と小中学校の事例発表、講話、意見交換会を行い、地域につくられた学校の応援団として、地域で子どもを育てる体制の発展に努めることを確認しました。</p>	3.3	

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
2 学校教育の推進 子どもたちが主体性を発揮して、生きる力を形成するためには、心と体、知識や技能の調和が重要視されており、それらを支える最大の環境は、身近に存在する教師であり、親であり、地域の人たちであります。このため、生活の基盤となる、学校・家庭・地域がそれぞれに教育力を発揮し、三者が一体となった教育の展開を目指し地域に開かれた「信頼される学校づくり」に取り組みます。	1 学力の向上		3.1	・新学習指導要領に基づく教育課程の移行期間であるので、先生は研修、研究を重ね、スムーズに移行できるようお願いしたい。学力向上は毎日の積み重ねであるので、粘り強い指導をお願いしたい。
	(1)「早寝・早起・朝ごはん」運動 中小生活リズムのめやす(6つの柱)を基本に、家庭の協力を得ながら取り組んできました。①早寝早起き・起床6時30分までに、ねる時刻低9時までに、中9時30分までに、高10時までに②家庭学習・低30分以上、中1時間以上、高1時間30分以上③仕事④三度の食事⑤運動⑥テレビ・ゲーム時間・2時間以内(家で約束を決める)。中学校では、特に長期休業中事前指導において、規則正しい生活リズムの確立を指導しました。	小学校の食育アンケート結果では、「朝食」の欠食率は1.1%で、ほとんどの子どもは朝食を取っており、これまでの取り組みの成果と考えられます。更に欠食率0%を目指していきます。また、朝食の内容について詳細な調査をしていませんが、菓子パンに飲み物という子もおり、家庭への働きかけや学習(研修)の必要性が感じます。	3.0	
	(2)生活点検など基本的生活習慣の定着 小学校においては、通年、「こころとからだのおよろしう」を行い、自己管理能力の育成と子どもの心身の変化を早期に発見し、対応するよう心がけています。中学校においては、挨拶や言葉遣い、服装、時間を守ることなどについて、特活や道徳の時間、日常生活を通じて指導しました。	小学校においては、起床は6時30分まで、寝る時刻は低9時まで、中9時30分まで、高10時まで、家庭学習は低30分以上、中1時間以上、高1時間30分以上、テレビ・ゲーム時間は、家庭で約束を決め2時間以内、手伝いをする事、三度の食事を取る事、運動をすることなど担任と養護教諭が連携し、生活習慣の確立に努めています。中学校においては、ノーチャイムを実施し、日常から意識した時間の行動が取れるよう習慣化に努めています。	3.0	
	(3)家庭学習の習慣化 小学校では、発達段階に合わせて、宿題から自学ができるよう取り組みを進めてきました。中学校では、生徒自身が自分の家庭学習について振り返ることをねらいとして、「ルックバックシート」の記入を継続させています。	小学校では、学級通信等で内容や方法を紹介するなど、児童への意欲喚起や家庭への働きかけを行い、徐々に成果が上がっています。中学校では、家庭学習の時間の確保や家庭生活全体についても生徒自身が考えるきっかけとなっています。	3.0	
	(4)指導方法工夫改善のための教職員定数加配の確保 学力差の大きい数学とコミュニケーション能力が必要とされる英語の授業で、個に応じたよりきめ細やかな指導を行うため、中学校に教員の加配を確保しました。	T・T(複数の教師による授業の実施)による指導を行うことで個に応じた指導の充実が図られ、教科に対する学ぶ意欲、関心が徐々に高まってきており学力の向上につながってきています。	3.0	
	(5)朝の読み書きなどの学習 小学校での読み書き・計算を中心とした朝学習の繰り返し学習、中学校での日課表に「朝読書」10分間を位置づけ、基礎基本となる学習習慣や読書離れの定着を図っています。また、放課後の個別指導や長期休業中の課題学習も取り組みました。	朝の読み書き・計算、読書などや放課後、長期休業中の学習計画の取り組みがされており、朝の学習習慣が定着しています。中学校においては、学校図書室の整備をはじめとする読書環境の整備が課題となっています。	3.0	
(6)教育課程の移行措置への対応 小学校では、これまでの教育活動を振り返り、新学習指導要領と対応させた教育の在り方を検討・整理し、完全実施を見通した適切な教育課程の編成を進め、円滑に移行できるように、21年・22年の2年間で準備しています。中学校では、新学習指導要領の学習を校内研修等の機会を設けて適宜実施しています。また、授業時数集計を細かく行い、移行期間における授業時数の確保を図っています。	小学校では平成23年度、中学校では平成24年度からの完全実施に向けて、教育課程の編成と授業時数の確保を着実に進めています。	3.5		

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
	(7) 中頓別町教育研究会などの支援 各学校における教育目標や経営方針に基づいた質の高い指導を行うため、教職員の資質能力の向上を図るための研究に要する経費を支援しました。	各教科等でサークル部会を結成し、それぞれの研究主題に基づいた研究を行い、教職員の資質向上や教育環境の充実が図られました。また、研究の成果は「研究紀要」として報告を受けました。	3.0	
	(8) 各学校の環境整備や教材の工夫による「楽しい・分かる授業」の推進 校内研修の充実を図りながら、日常の授業の工夫・改善を進め、「楽しく分かる授業」を進めてきました。	小学校では、研究主題「思いを伝え合い、学び合う子どもの育成～かかわり・つながりを意識する授業づくりを通して」に迫るため、6つの教科での授業公開を行い、それぞれ教材を工夫した授業が展開され、学び合うことができました。また、個々の教師の力量向上につながっています。中学校では、自ら学ぶ意欲を育てる学習指導、確かな学力の定着と合わせて、自学自習の力をめざした「チャレンジタイム」を月3回実施したことにより、「授業は楽しい、自分から学習に取り組む」とアンケートに回答する生徒が増え、効果が現れています。	3.0	
	(9) 英語指導助手による英語教育 小学校では、5,6年生は外国語活動で35時間、3,4年生は総合のウエルカム教室で7時間程度、1,2年生で3～6時間程度実施しました。英語指導助手と担任が事前に打ち合わせを行い、これまでの指導内容を踏まえながら実践しています。中学校では、選択英語(コミュニケーション英語)及び必修授業において活用を図りました。	小学校では、子どもたちはこの活動を大変楽しみにしており、体験を通して外国(英語)の言語や文化に触れ、親しみをもつようになってきています。英語指導助手自身の学習に対する前向きな姿勢と明るさが、子どもたちに良い影響を与えています。中学校では、生徒の学習への意欲向上及びコミュニケーション能力の向上につながっています。	4.0	
	(10) 小学校と中学校との教師の交流研修による教育指導の充実 町教育研究会の取り組みに位置付け、実践交流や教育講座での学び合いを6月と1月に2回実施しました。	小中連携の在り方について事務局から課題提起され、22年度の方向性がやや見えてきた状況にあります。交流から連携に向けた取り組みが今後期待されます。	2.8	
	2 豊かな心の育成		3.6	・地域の教育力は大いに活用していただきたい。 ・道徳の面で、テレビや新聞の記事になることのないよう取り組みを強化していただきたい。
	(1) 地域ぐるみで学校を支援する学校支援地域本部事業の推進 学校支援地域本部は、地域コーディネーターを配置し、学校を支援するため地域の方々をボランティア(生活職人)として紹介・派遣する仕組みで、地域につくられた学校の応援団として、学校・家庭・地域が一体となり、さらにこれまでの学校運営や教育活動を発展させ、地域で子どもを育てる活動として事業を展開しました。(道からの委託事業)	小学校の総合的な学習の時間(中頓別体験隊)ほか4事業で63名の生活職人の支援、中学校では、2年生の学級レクほか4事業で7名の生活職人の支援を受け、総合的な学習の時間や社会見学、親子ふれあい広場、職場体験などの授業から課外活動まで幅広く支援していただき、地域の教育力を活用した大変有意義な取り組みとなっています。	4.0	
	(2) 命の大切さや思いやりの心を育む道徳教育の充実 小学校では、道徳の時間をはじめ、学級活動や班活動、学校行事や様々な取り組みの中で起こる問題を通して、他の人とのかかわり、集団や社会とのかかわりの中でどう生きていくか(行動していくか)を考えさせる指導にあたりました。中学校では、「命を大切に教育」推進を教務研修と連携しながら計画し、また、毎月「学校生活アンケート」を実施し、いじめ等の実態把握に努めています。	体験活動を通して、他の人とのかかわりを学びながら日々成長している児童の姿が見受けられます。毎月実施している「学校生活状況アンケート」は、生徒自身が常にいじめ等の考える機会となり、いじめ等の抑止力となっています。	3.0	

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
	(3)学校の内外を通じた奉仕・体験活動の推進 学校行事(祭典時の鼓笛パレード・神輿パレード等)、慰霊祭での鼓笛演奏、町のイベントでの和太鼓演奏、クリーン作戦、緑の募金活動、長寿園・厚生園訪問、認定こども園での読み聞かせ体験、リングブル・ペットボトル収集など、様々な分野で奉仕・体験活動を行いました。	地域に支えられている学校として”感謝”と”子どもの元気が地域を明るく元気にする意識”を持ちながら活動していますが、地域のみなさんから励まされることが多くあります。教科時数の確保の関わりの中で、実施時間の確保が課題となっています。	3.5	
	(4)学校支援の取組みの充実 小学校では、学校創立100周年の年だったため、町の歴史に視点をあて、「生活・産業・鉄道」にしばった体験活動を行い、多くの生活職人の方々と関わりながら学習を進めることができました。中学校においては、親子ふれあい広場や部活動外部コーチなど、地域の幅広い支援を受けて取組みを展開することができました。	学校支援地域本部のコーディネーターの支援により、地域の教育力を活用することができました。地域ボランティア(生活職人)の方々も快く協力していただき、学校も感謝しています。	4.0	
	3 健やかな体を育む		3.7	・栄養教諭が中心となった食育推進の努力が見える。食事は全ての源であるので、今後も継続して取り組んでもらいたい。
	(1)体育の一層の充実、運動部活動の推進 体力テストで児童の実態を把握するとともに、各学年で重点的な指導を実践しながら、体育指導の充実を努めました。持久力育成のため、秋の町民駅伝・マラソン大会に全校で取り組みました。地域、保護者と連携して、教職員の指導の下、体育的活動や運動部活動が実施されました。	児童の実態を把握しながら、全校的に体力向上を目指すことができました。特に運動会後から体力づくりや持久力育成のため、取り組んだ町の駅伝・マラソン大会で児童が全員完走できたことが大きな成果でした。地域や保護者と連携し、体育活動や運動部活動の充実を図ることができました。	3.5	
	(2)栄養教諭を中核とした学校給食の充実 食育の推進を通じて子どもの心身の健康の保持増進を図り、食育に関する標語及び体験活動等の実施を通じて家庭、地域への効果的な普及啓発を図るため、道から委託を受け、栄養教諭を中核とした食育推進事業を小学校を実践中心校として実施しました。	学校では、教職員が給食の時間をはじめ、様々な授業において、これまで以上に食育を意識した指導に取り組み、子どもたちに食育への関心を高めることができました。保護者アンケート結果から、「朝食は家族で食卓を囲めないが、夕食はできるだけ家族一緒に食事をする努力をしている。」など、それぞれの家庭においてできるところから食生活を見直すといった様子が見られました。	4.0	
	(3)子どもたちの健康の保持増進を図る食育の推進 給食時間や授業を通じて、食事のマナーや作法、栄養面について指導を重ねています。	栄養教諭と養護教諭との連携による指導や食育推進事業の展開により、児童・生徒の意識の高まりが見られるとともに、家庭へも食育の重要性を啓発することができました。	3.8	
	(4)薬物乱用防止教育など学校保健の充実 小学校では、学校医による健康講座や学校薬剤師による保健授業等を実施しました。中学校では、警察による薬物乱用防止教室や学校薬剤師による乱用防止に関わる講話を実施しました。	小学生の頃から計画的に学習し、意識の高揚を図ることが大切です。薬物に関する恐ろしさやたばこの被害の怖さなどの知識を高めることができました。	3.5	
	4 信頼される学校づくり		3.4	・学校だよりは、こまめに発行されており、学校や子どもの様子を地域によく知らせている。4月の異動の時は先生の写真も入っていて分かりやすい。
	(1)学校だよりで学校教育活動などの情報提供 学校だよりの定期発行(月1回)や学級だより、保健だより等で、児童生徒の活動の様子や教育情勢等を保護者や地域住民に情報提供しました。	学校や児童・生徒の様子を保護者や地域住民にしっかり伝えることができ、開かれた学校づくりに貢献しています。今後も継続して発行し、学校や児童生徒の様子を提供します。	3.5	

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
	(2)学校評議員などの意見提言を教育実践や学校経営に生かす 小学校では、「中小を考える懇談会」をPTA、学校評議員、社会教育関係者、中学校を交えて3月に開催し、平成23年度の新学習指導要領の移行期間中の取組報告や率直な意見交換を行ないました。中学校では、学期ごと(年3回)の学校評議員会を開催し、学期を振り返って、学校の状況や成果と課題などの意見交換を行ないました。	小学校では、今年度変更・改善した行事等、PTA活動、総合的な学習の時間、次年度の学力向上・心・健康体力づくりの取り組みについて話し合われ、それぞれ率直な意見が出されました。今後の教育計画に反映するよう努めます。中学校では、確かな学力の定着、研修の充実、内・外に開かれた学校、生徒会活動、PTAとの連携、学校評価などについて評議員から意見をいただき、学校経営の見直しに役立てています。	3.3	
	(3)学校独自評価と外部評価 教職員が行う自己評価と保護者アンケートによる内部評価を実施しました。	結果については、教育委員会に報告するとともに、保護者に公開し、教育計画、学校運営に反映させることができました。保護者アンケートの結果は、全体的に高い評価を得ていますが、項目ごとに再度見直し、次年度の改善につなげていきます。	3.3	
	5 幼児教育		3.3	・特になし
	(1)関係機関・団体と連携したブックスタートや絵本の読み聞かせの支援 6ヶ月健診時にブックスタートパック(絵本2冊)を配付し、1歳児健診、1歳半健診、3歳児健診時に読み聞かせを実施しています。	健診時に絵本の読み聞かせや絵本を通しての親子のつながりを話したり、家族で読んでいただくよう進めることで、親子の絵本に対する関心の高まりを築けるよう継続して実施しています。	3.3	
	6 特別支援教育		3.7	・支援体制を継続して行い、子どもたちを差別することのないように取扱っていただきたい。
	(1)指導体制の充実 小学校では、校内支援委員会を中心に「パートナーティーチャー制度」を活用し、継続的に観察・支援を行っています。町特別支援教育連携協議会では、役員会、協議会での学習会や町民対象の講演会などを開催し、関係機関の連携と指導体制の充実に努めました。	小学校では、校内支援委員会が中心となり、保護者との連携を図りながら、指導体制の強化を図っています。町特別支援教育連携協議会では、幼児、児童生徒及び地域の実態を把握し、関係者が連携して支援できるよう協議会での活動を続けています。	3.3	
	(2)特別支援教育支援員の配置 学校での学習や生活の面で特別な支援が必要な児童生徒に対して適切な指導を行うため支援員を配置しました。平成21年度は学校からの要望に基づき中頓別小学校に配置しています。	稚内養護学校と連携して取り組んだ「パートナーティーチャー制度」の活用によって、指導方針や方法等について研修を深めながら、特別な支援が必要な児童の学習効果を高めることができました。	4.0	

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
3 社会教育の推進 健やかで豊かな心と体を育み、主体的に地域社会で活動するために、知識や技術を習得し、自己実現を図るため、社会教育による学習機会の充実に取り組みます。	1 社会教育による学習機会の充実		3.3	・寿大学は卒業がないので、どうなのか。内容も活性化させるよう努力してもらいたい。 ・女性や青年の連携が薄いように感じる。浜頓別町では婦人の集いを教育委員会で開催し、横の連携を図っている。
	(1)各関係機関や団体・サークルとのネットワークの拡充 町内で活動している団体やサークルの活動を把握し、ネットワーク化を図るため、まちづくり・生涯学習推進チーム会議が中心となり、情報の収集を行いました。	まちづくり・生涯学習推進チーム会議において、各団体・サークルの活動で町民に参加を呼びかける事業や講座などを調査し、まなびのネットワーク化を図るための足がかりを構築しました。次年度からは学習の場(なかとんべつ「カレッジ」)を提供していきます。	3.0	
	(2)生涯各期にふさわしい多様な学習活動の推進 幼少年期から高齢者まで、生涯各期にふさわしい学習活動のため、子どもオセロ大会や子どもカルタ大会、成人式、高齢者教室「寿大学」など年間事業計画に沿って活動を推進してきました。	毎年実施しているため、事業としては定着していますが、内容のマンネリ化を防ぐ工夫や事業の見直しを行ないます。	3.0	
	(3)ボランティアや指導体制の整備 子どもカルタ大会や教室、高齢者教室「寿大学」の学習会などでの講師を地域の方々にお願しました。また、学校支援ボランティア(生活職人)の講習会を開催し、指導体制の整備に努めました。	社会教育事業を取り組む上で、地域の職人さんの協力がなければ成り立ちません。そのため、常に団体・サークル、個人の活動を把握し、地域ボランティアまなびねっと「生活職人」の登録とネットワークを促進します。	3.3	
	(4)異文化交流、英会話教室の開催 認定こども園の年長児を対象とした週1回の「ボーセン先生と英語であそぼう」、一般町民を対象にした週3回(火曜日午後、木曜日夜間、金曜日午後)の英会話教室を行ないました。また、交流事業としてクリスマスコンサートを12月12日礼文町、12月16日長寿園、12月19日厚生園、12月20日大法寺で開催しました。	一般英会話教室の参加者は、週5名と昨年比べ減りましたが、認定こども園での事業は定着し、週1回の「ボーセンさんと英語であそぼう」を子どもたちは楽しみにしています。また、地域間交流では、趣味のギターで町内の愛好者と一緒に、町内外と積極的に活動を展開し大変好評でした。	3.3	
	(5)学校と地域ボランティアとの連携体制の構築(学校支援地域本部) 学校支援地域本部事業も2年目に入り、地域コーディネーターの役割も定着し、学校支援ボランティア(生活職人)と学校のパイプ役を果たしました。	延63名の生活職人が学校からの要望に応え、総合的な学習の時間や社会見学などをサポートし、効果的な学習機会の提供がされました。また、生活職人からは、子どもたちと関わることで元気をもらい、ボランティアの誇りと教育力の向上につながるとの評価をいただきました。	3.8	
	2 文化活動の継続		3.2	
(1)芸術文化の鑑賞機会の提供 普段鑑賞することができない児童劇、劇団さっぽろによるハックルベリーフィンの冒険を9月16日開催し、150名の児童生徒等が鑑賞しました。また、開拓100年、町制施行60周年協賛事業として札幌交響楽団によるアンサンブル演奏会を10月3日に開催し、200名の町民が鑑賞しました。	児童劇や演奏会などの鑑賞する機会が少ないため、予算の範囲内で満足できる公演が提供できるよう努めています。折角の機会ですので多くの町民が鑑賞できるよう今後も創意工夫を凝らします。	3.3		

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
	(2)各団体・サークルの活動成果の発表する場の拡充 町民文化祭を10月30日から11月1日までの3日間開催し、児童生徒・一般作品展示、子ども発表会、寿大学・一般芸能発表、茶席、創作活動、作品展示即売、バザー、管内郷土芸術祭など多彩な催しが行なわれました。	各団体・サークルは、活動の発表の場として、町民文化祭に参加しています。ここ数年、各団体・サークルの会員の減少が著しく解散する会も出てきています。少ない会員の中ですが、伝統文化の継承に努めています。また、各団体・サークル独自で道の駅や町内事業所のイベントなどに作品を展示したり、販売したりしています。	3.0	
	3 文化財の保護・活用		3.0	・鍾乳洞のハードの整備がされたので、活用を図っていただきたい。
	(1)自然環境に配慮しながら、貴重な文化財としての保護と活用 中頓別鍾乳洞の価値を高めるために、道文化財指定区域内の散策路に草花の名札を設置するなど、観光担当とタイアップして、保護と活用に努めてきました。	道指定区域内外の整備も充実し、維持管理面が大変重要となっています。第1洞窟のコケ類の対策や新洞窟の保存と活用の検討が求められています。	3.0	
	4 スポーツ活動の推進		3.3	・スポーツ団体等は活発に活動している。
	(1)スポーツ少年団への支援 剣道(8名)、野球(7名)、卓球(9名)、柔道(17名)の4スポーツ少年団の結団式及び体力テスト会を5月9日に、秋の体力テストを10月17日に、解団式を3月20日に行ないました。	指導者の協力のもと、子どもたちはスポーツを通して、健康な体と心を養い、ルールを守り、他人に迷惑をかけない人間となるよう努めています。小学生では、31名の加入で加入率34%となっています。	3.3	・ラジオ体操を夏休みに10日間実施しているが、日数を増やす検討をはいかがでしょうか。
	(2)スキー教室の開催 ・年少少女スキー教室 小学1年14名、小学2年14名、小学3年9名、小学4年12名、小学5年5名、小学6年1名の55名が参加し、1月7日から9日までの3日間、スキー協会、教諭、ボランティアの協力により行ないました。 ・一般スキー教室 受講者は8人で、1月16日から2月13日まで7回の教室をスキー協会の協力により行ないました。	年少少女スキー教室では、初心者から経験者まで6班に分けて指導した結果、初心者は、リフトの乗降から人の字でゆっくり滑るまで、経験者は体重の乗せ方などを習得し、今後の練習の弾みとなっています。 一般スキー教室の受講者の殆どが経験者であり、スキー技術の向上や新しいスキー技術の習得のため、参加されました。今回は土日の教室のため、参加者も少し増えました。	3.3	
	(3)歩くスキー教室の開催 藤井クロスカントリーコースで、1月27日、2月3日、12日、17日、26日の5回開き、連日11名の町民が参加しました。	参加者は少ないですが、冬季間の運動不足と健康づくりに役立っています。	3.3	
	(4)各種スポーツ大会の開催 ①町長杯パークゴルフ大会 5月10日 寿パークゴルフ場 52名参加 ②町民ソフトボール大会 7月12日 ふれあいスポーツ広場 5チーム57名参加 ③町民駅伝大会・小学校マラソン大会 9月6日 駅伝(敏音知から役場)小学生15チーム、中学女子3チーム、中学男子4チーム、一般女子3チーム、一般男子1チーム 計26チーム104名参加 小学校マラソン大会(上駒から役場) 1, 2年生 30名参加	①パークゴルフ協会の協力のもと、スムーズに運営され、技術の向上と参加者の親睦を深めることができました。 ②参加チーム数も昨年度と同様の5チームでしたが、職場や団体などの親睦交流を深めることができました。 ③小学校では、体力向上を目的に1年・2年生は上駒から役場までのマラソン、3年生以上は駅伝に全員参加での取り組みがされました。全員が完走し、達成感がうまれたようです。一般男子が1チームと少なく、課題となりました。		

項目	事業内容・実績等	成果・課題等	内部評価	外部評価(総合意見)
	<p>④町民ソフトミニバレーボール大会 2月26日 町民体育館 7チーム 28名参加</p> <p>⑤町民スキー大会 3月7日 寿スキー場 スキー競技の部 小学生29名、中学生1名、一般14名 計44名参加 歩くスキーの部 14名、宝探し130名 参加</p> <p>⑥教育長杯室内ゲートボール大会 3月20日 町民体育館 4チーム 25名参加</p>	<p>④職場やサークル、愛好会等が参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。青年から壮年まで気軽に参加でき、健康づくりに役立っています。</p> <p>⑤スキー人口が年々減っていますので、運営にも苦慮しています。</p> <p>⑥協会員が中心に参加し、日頃の練習成果を競い合いました。一般の参加者が少ないのが残念です。</p>	3.3	
	(5) 夏期巡回ラジオ体操会みんなの体操会の開催 開拓100年、町制施行60周年記念事業として、7月29日に中頓別小学校グラウンドを会場に夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会、北海道中頓別町大会を開催しました。	7月29日早朝6時からの生放送リハーサル、6時30分から生放送で全国に流され、町民や道北地区ラジオ体操連盟(旭川)など約500名の参加のもと、盛会に終了することができました。	3.8	
	(6) 生涯スポーツ、コミュニティスポーツの普及推進 スポーツ少年団、体育連盟やスポーツ愛好団体など既存の組織を中心に、活動を進めています。また、教育委員会では、各種スポーツ教室や各種スポーツ大会を開催し、普及に努めています。	既存の組織の活動や教育委員会の各種教室、各種大会の継続と「だれもが気軽に参加できる」総合型地域スポーツクラブの必要性が高まっています。	2.8	
	(7) 各団体・サークルの自主的な活動の助長 町内には、スポーツ少年団4団体、体育連盟10団体、スポーツ愛好団体7団体が、野外施設、町民体育館、学校体育館で活動しています。	各団体・サークルでは、年間事業計画等にもとづき、大会や講習会など幅広い活動が行われています。今後ともスポーツ振興のため支援していきます。	3.0	
	5 社会教育施設、スポーツ施設の活用		3.3	・パークゴルフ場は、他町村の利用者からよく整備されていると好評を得ている。
	(1) 一部施設の指定管理者による管理運営 寿公園、寿スキー場、ふれあいスポーツ広場、テニスコート、ゴルフ練習場、パークゴルフ場を(有)中頓別振興公社に指定管理者として、管理運営を委託しました。	長年、(有)中頓別振興公社に管理運営を委託していますので、しっかり維持管理されています。指定管理料の面からも平成20年度と比較して減額となりましたので、公社としての努力が見られます。	3.3	
	(2) 既存施設の有効活用と維持管理 指定管理以外に直営で維持管理している施設は、町民センター、小頓別多目的集会施設、創作活動施設、郷土資料館、青少年柔剣道場、図書室、町民体育館、山村水泳プールがあります。年々使用者は減少していますが、適正な維持管理に努めています。	各施設の使用状況は、横ばいからやや減少傾向にありますので、活動しやすい環境づくりが重要となっています。維持管理経費の節減に努め、活動しやすい環境づくりを目指します。	3.3	

6. 教育委員会の事務の執行状況

生涯学習、学校教育、社会教育における執行状況（別紙資料）

項 目	主 要 な 施 策	成 果																																																																																																																																																															
総務学校教育	小中学校 児童・生徒・教員数	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分 学校名</th> <th rowspan="2">へき地級</th> <th rowspan="2">学級数</th> <th rowspan="2">男女別</th> <th colspan="7">教 員 数</th> <th colspan="2">職 員 数</th> <th colspan="7">学 年 別 児 童 ・ 生 徒 数 内 訳</th> </tr> <tr> <th>校長</th> <th>教頭</th> <th>教諭</th> <th>養護教諭</th> <th>栄養教諭</th> <th>講師</th> <th>計</th> <th>事務職員</th> <th>用務員</th> <th>計</th> <th>学級区分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中頓別小学校</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">6</td> <td>男</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>単式学級</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>1</td> <td></td> <td>6</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>9</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中頓別中学校</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">3</td> <td>男</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>単式学級</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td>16</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>25</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>135</td> </tr> </tbody> </table>																区分 学校名	へき地級	学級数	男女別	教 員 数							職 員 数		学 年 別 児 童 ・ 生 徒 数 内 訳							校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	講師	計	事務職員	用務員	計	学級区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	中頓別小学校	1	6	男		1	1		1		3		1	1	単式学級	15	16	17	15	15	13	91	女	1		6	1		1	9	1		1										中頓別中学校	1	3	男	1	1	5			7	1	1	2	単式学級	17	16	11					44	女			4	1		1	6			0										合計				2	2	16	2	1	2	25	2	2	4								135
		区分 学校名	へき地級	学級数	男女別	教 員 数							職 員 数		学 年 別 児 童 ・ 生 徒 数 内 訳																																																																																																																																																		
						校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	講師	計	事務職員	用務員	計	学級区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計																																																																																																																																										
		中頓別小学校	1	6	男		1	1		1		3		1	1	単式学級	15	16	17	15	15	13	91																																																																																																																																										
					女	1		6	1		1	9	1		1																																																																																																																																																		
中頓別中学校	1	3	男	1	1	5			7	1	1	2	単式学級	17	16	11					44																																																																																																																																												
			女			4	1		1	6			0																																																																																																																																																				
合計				2	2	16	2	1	2	25	2	2	4								135																																																																																																																																												
(平成21年5月1日現在)																																																																																																																																																																	
	教職員健康診断実施	<p>教職員の健康管理のため、次の健康診断を実施し疾病の早期発見に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診察</th> <th>胸部X線</th> <th>血圧測定</th> <th>尿検査</th> <th>聴力検査</th> <th>心電図検査</th> <th>血液検査</th> <th>胃部X線</th> <th>人間ドック</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18人</td> <td>18人</td> <td>18人</td> <td>17人</td> <td>4人</td> <td>7人</td> <td>18人</td> <td>3人</td> <td>4人</td> <td>107人</td> </tr> <tr> <td>31,320</td> <td>11,700</td> <td>3,780</td> <td>3,910</td> <td>1,800</td> <td>9,450</td> <td>75,600</td> <td>12,750</td> <td>48,000</td> <td>198,310</td> </tr> </tbody> </table>																診察	胸部X線	血圧測定	尿検査	聴力検査	心電図検査	血液検査	胃部X線	人間ドック	合計	18人	18人	18人	17人	4人	7人	18人	3人	4人	107人	31,320	11,700	3,780	3,910	1,800	9,450	75,600	12,750	48,000	198,310																																																																																																																		
診察	胸部X線	血圧測定	尿検査	聴力検査	心電図検査	血液検査	胃部X線	人間ドック	合計																																																																																																																																																								
18人	18人	18人	17人	4人	7人	18人	3人	4人	107人																																																																																																																																																								
31,320	11,700	3,780	3,910	1,800	9,450	75,600	12,750	48,000	198,310																																																																																																																																																								
	児童・生徒の健康診断実施状況	<p>学校保健法に基づき、健康診断と検査を実施した。</p> <p>へき地心臓検診費国庫補助金 25,000 円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">検査別</th> <th>内科検診</th> <th>心臓検診</th> <th>尿検査</th> <th>蟯虫卵検査</th> <th>歯科検診</th> <th>脊柱側彎検診 (町村負担金)</th> <th>耳鼻科検診 (町村負担金)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>実施数</td> <td>61人</td> <td>32人</td> <td>91人</td> <td>91人</td> <td>91人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>金額</td> <td>172,630円</td> <td>134,400円</td> <td>19,215円</td> <td>7,644円</td> <td>86,450円</td> <td>40,000円</td> <td>64,300円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>実施数</td> <td>27人</td> <td>17人</td> <td>44人</td> <td>44人</td> <td>44人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>金額</td> <td>76,410円</td> <td>71,400円</td> <td>9,345円</td> <td>3,696円</td> <td>41,800円</td> <td>20,000円</td> <td>31,200円</td> </tr> <tr> <td>就学児</td> <td>実施数</td> <td>14人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>14人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>金額</td> <td>55,860円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>円</td> <td>13,300円</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>102人</td> <td>49人</td> <td>135人</td> <td>135人</td> <td>149人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>304,900円</td> <td>205,800円</td> <td>28,560円</td> <td>11,340円</td> <td>141,550円</td> <td>60,000円</td> <td>95,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>健康診断延人数 570人 健康診断実施合計額 847,650円</p>																区分	検査別	内科検診	心臓検診	尿検査	蟯虫卵検査	歯科検診	脊柱側彎検診 (町村負担金)	耳鼻科検診 (町村負担金)	小学校	実施数	61人	32人	91人	91人	91人	人	人		金額	172,630円	134,400円	19,215円	7,644円	86,450円	40,000円	64,300円	中学校	実施数	27人	17人	44人	44人	44人	人	人		金額	76,410円	71,400円	9,345円	3,696円	41,800円	20,000円	31,200円	就学児	実施数	14人	人	人	人	14人	人	人		金額	55,860円	円	円	円	13,300円	円	円	計		102人	49人	135人	135人	149人	0人	0人			304,900円	205,800円	28,560円	11,340円	141,550円	60,000円	95,500円																																																															
区分	検査別	内科検診	心臓検診	尿検査	蟯虫卵検査	歯科検診	脊柱側彎検診 (町村負担金)	耳鼻科検診 (町村負担金)																																																																																																																																																									
		小学校	実施数	61人	32人	91人	91人	91人	人	人																																																																																																																																																							
	金額	172,630円	134,400円	19,215円	7,644円	86,450円	40,000円	64,300円																																																																																																																																																									
中学校	実施数	27人	17人	44人	44人	44人	人	人																																																																																																																																																									
	金額	76,410円	71,400円	9,345円	3,696円	41,800円	20,000円	31,200円																																																																																																																																																									
就学児	実施数	14人	人	人	人	14人	人	人																																																																																																																																																									
	金額	55,860円	円	円	円	13,300円	円	円																																																																																																																																																									
計		102人	49人	135人	135人	149人	0人	0人																																																																																																																																																									
		304,900円	205,800円	28,560円	11,340円	141,550円	60,000円	95,500円																																																																																																																																																									

項 目	主 要 な 施 策	成 果			
総務学校教育	小学校委託関係	各種健康診断委託料	639,809 円		
		校舎管理委託料	3,528,000 円		
		教育研究指定校委託料	50,000 円		
		消防設備等点検業務委託料	94,500 円		
		電気保安管理委託料	247,206 円		
		暖房設備点検業務委託料	336,000 円		
		危険物選任業務委託料	102,000 円		
		高架水槽清掃業務委託料	51,450 円		
		地下タンク及び配管微加圧検査業務委託料	36,750 円		
		特別支援教育推進委託料	140,000 円		
		合 計	5,225,715 円		
	中学校委託関係	各種健康診断委託料	202,651 円		
		校舎管理委託料	3,528,000 円		
		教育研究指定校委託料	50,000 円		
		電気保安管理業務委託料	178,036 円		
		消防設備等点検業務委託料	42,000 円		
		廃薬品処分委託料	342,520 円		
		体育館耐震診断委託料	1,732,500 円		
		合 計	6,075,707 円		
	学校健康会の加入及び給付	学校安全会の普及充実を図るとともに児童、生徒の負傷疾病等に関して必要な給付を行った。加入額、給付件数、給付額は次のとおり。			
		区 分	加入額	給付件数	給付額
		小学校	85,305 円	11 件	117,016 円
	中学校	41,120 円	21 件	88,134 円	

項 目	主 要 な 施 策	成 果																																																																							
総務学校教育	児童生徒用図書購入	<p>小中学校児童生徒用図書購入額状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 校 名</th> <th>購 入 額</th> <th>学 校 名</th> <th>購 入 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中頓別小学校</td> <td>223,420 円</td> <td>中頓別中学校</td> <td>74,871 円</td> </tr> </tbody> </table>	学 校 名	購 入 額	学 校 名	購 入 額	中頓別小学校	223,420 円	中頓別中学校	74,871 円																																																															
	学 校 名	購 入 額	学 校 名	購 入 額																																																																					
	中頓別小学校	223,420 円	中頓別中学校	74,871 円																																																																					
	校舎・教職員住宅等修繕	<p>校舎・教職員住宅補修及び修繕の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>校舎及び屋体</th> <th>中頓別小学校</th> <th>535,001 円</th> <th>中頓別中学校</th> <th>256,164 円</th> <th>住宅</th> <th>495,621 円</th> <th>合計</th> <th>1,286,786 円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table>	校舎及び屋体	中頓別小学校	535,001 円	中頓別中学校	256,164 円	住宅	495,621 円	合計	1,286,786 円																																																														
	校舎及び屋体	中頓別小学校	535,001 円	中頓別中学校	256,164 円	住宅	495,621 円	合計	1,286,786 円																																																																
	要保護及び準要保護児童・生徒に対する援助	<p>要保護及び準要保護児童・生徒が援助対象となり、これら家庭の経済的理由により就学困難な児童・生徒に就学援助を行い、義務教育の円滑な実施を行なった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">特別支援学級</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>給与人員</th> <th>給与額</th> <th>給与人員</th> <th>給与額</th> <th>給与人員</th> <th>給与額</th> <th>給与人員</th> <th>給与額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>6</td> <td>62,780</td> <td>3</td> <td>73,810</td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td>136,590</td> </tr> <tr> <td>新入学児童・生徒学用品費</td> <td>2</td> <td>21,558</td> <td>2</td> <td>45,800</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>67,358</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>1</td> <td>17,686</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>17,686</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費</td> <td>2</td> <td>50,600</td> <td>2</td> <td>72,600</td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>123,200</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>6</td> <td>201,811</td> <td>3</td> <td>161,856</td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td>363,667</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6</td> <td>354,435</td> <td>3</td> <td>354,066</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>708,501</td> </tr> </tbody> </table>	区分	小学校		中学校		特別支援学級		合計		給与人員	給与額	給与人員	給与額	給与人員	給与額	給与人員	給与額	学用品費	6	62,780	3	73,810			9	136,590	新入学児童・生徒学用品費	2	21,558	2	45,800			4	67,358	修学旅行費	1	17,686					1	17,686	体育実技用具費	2	50,600	2	72,600			4	123,200	給食費	6	201,811	3	161,856			9	363,667	合 計	6	354,435	3	354,066	0	0	9	708,501
	区分	小学校		中学校		特別支援学級		合計																																																																	
		給与人員	給与額	給与人員	給与額	給与人員	給与額	給与人員	給与額																																																																
	学用品費	6	62,780	3	73,810			9	136,590																																																																
新入学児童・生徒学用品費	2	21,558	2	45,800			4	67,358																																																																	
修学旅行費	1	17,686					1	17,686																																																																	
体育実技用具費	2	50,600	2	72,600			4	123,200																																																																	
給食費	6	201,811	3	161,856			9	363,667																																																																	
合 計	6	354,435	3	354,066	0	0	9	708,501																																																																	
学校教育振興費	<p>学校規模に応じた適切な配分により、負担の軽減を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="6">振興費内訳</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>教材用消耗品費</th> <th>行事用消耗品費</th> <th>情報用消耗品費</th> <th>総合学習用消耗品費</th> <th>特別支援用消耗品費</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 学 校</td> <td>452,190</td> <td>167,497</td> <td>53,040</td> <td>112,552</td> <td>27,825</td> <td>813,104</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>563,145</td> <td>211,978</td> <td>69,265</td> <td>22,950</td> <td>33,516</td> <td>900,854</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,015,335</td> <td>379,475</td> <td>122,305</td> <td>135,502</td> <td>61,341</td> <td>1,713,958</td> </tr> </tbody> </table>	区分	振興費内訳						合 計	教材用消耗品費	行事用消耗品費	情報用消耗品費	総合学習用消耗品費	特別支援用消耗品費		小 学 校	452,190	167,497	53,040	112,552	27,825	813,104	中 学 校	563,145	211,978	69,265	22,950	33,516	900,854	合 計	1,015,335	379,475	122,305	135,502	61,341	1,713,958																																					
区分	振興費内訳						合 計																																																																		
	教材用消耗品費	行事用消耗品費	情報用消耗品費	総合学習用消耗品費	特別支援用消耗品費																																																																				
小 学 校	452,190	167,497	53,040	112,552	27,825	813,104																																																																			
中 学 校	563,145	211,978	69,265	22,950	33,516	900,854																																																																			
合 計	1,015,335	379,475	122,305	135,502	61,341	1,713,958																																																																			
スクールバス関係	<p>スクールバス運行状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>運行経路</th> <th>導入年度</th> <th>定員</th> <th>購入価格</th> <th>利用者数</th> <th>運行開始年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ワゴン車</td> <td>中頓別町～兵安～豊泉</td> <td>H9</td> <td>10</td> <td>4,160,000 円</td> <td>3</td> <td>H9</td> </tr> <tr> <td>マイクロバス</td> <td>中頓別町～秋田～小頓別～上頓別～敏音知～松音知</td> <td>H10</td> <td>29</td> <td>6,615,000 円</td> <td>9</td> <td>H10</td> </tr> </tbody> </table>		運行経路	導入年度	定員	購入価格	利用者数	運行開始年度	ワゴン車	中頓別町～兵安～豊泉	H9	10	4,160,000 円	3	H9	マイクロバス	中頓別町～秋田～小頓別～上頓別～敏音知～松音知	H10	29	6,615,000 円	9	H10																																																			
	運行経路	導入年度	定員	購入価格	利用者数	運行開始年度																																																																			
ワゴン車	中頓別町～兵安～豊泉	H9	10	4,160,000 円	3	H9																																																																			
マイクロバス	中頓別町～秋田～小頓別～上頓別～敏音知～松音知	H10	29	6,615,000 円	9	H10																																																																			

【平成21年度 中頓別小学校学校評価】

中頓別小学校

※校内評価から（別紙参照）

- ＊全体的に高い評価を得ているが、前年度と比べると厳しい評価となっている。今後、厳しい評価を得た項目については次年度の改善の重点として検討していく。

各項目について

【教育活動全体について】

- ・今年度は、創立100周年の記念の年に当たり行事の取組や協賛会等との関係機関と連携を図っていく必要があった。その為、子ども達の中にも記念の年という意識が高く様々な関係の行事の中で子ども達の意欲的な姿を見ることができた。
記念行事の中で取り組んだ記念運動会や学芸会、ふれあい広場等、過去の競技種目の復活や中頓別小学校の創立の歴史を劇で表すなど、「つたえよう歩み、つなげよう絆」の100周年テーマに沿った取組が、学校職員のみならず保護者・地域を巻き込んだ活動となっていた。
日常の学校生活では、縦割り班を中心にした異学年指導を通して人間関係の構築に全教職員が関わり、子ども達の健やかな成長を促すと共に、職員会議での「子ども交流」を通して一人一人の子ども達の様子を把握しながら指導に当たっている。
教科指導においては、学校支援員の活用を図り、日常のTT指導の充実に努めながら学力の育成に努めている。また、一人一人の課題を明確にしながら、放課後学習など積極的な取組を推進している。

【教科】

- ・全体的に高い評価を頂いた。校内研修の充実を今後も図りながら日常の授業の充実を図っていくことが今後も必要と考える。
次年度は、指導工夫改善加配が配置されるので活用を十分検討し、算数における指導の工夫や授業改善に役立てていく。

【総合】

- ・高い評価を得ている。100周年の年ということで、中頓別町の歴史に視点を当てた「産業や文化、交通」を中心とした「中頓別探検隊」の取組を通して、多くの町民の方と関わりながら学習を進めることができた。
特に今年度は、高学年が「町への提言」という形で、学んだことを通して町の活性化を図る子どもらしい発表を町民の方へ発信することができた。

【道徳】

- ・評価的には、2.5という値であったが、「長寿園訪問」「性教育の実践」「厚生園訪問」等の取組を通して、全校的に道徳的実践力の育成を図ることができた。
参観日の全体懇談会などを通して、家庭教育の協力を呼びかけたり、話題の提供など今後もさらなる取組を推進していく必要がある。

【行事等】

- ・今年度は、100周年の意義を汲んだ行事が多く、その中で関係機関と連携しながら推進することができた。

縦割り班活動を生かしたリーダー性の育成や集団性・協力性など特別活動のねらいに即した取組を実施することができた。

【生徒指導】

- ・「子ども交流」や「いじめの実態・取組」等の交流を通して、子ども一人一人の生活状況を含めた内面に迫ることにより、児童理解を深めることができた。

また、安全パトロールや駐在所・枝幸警察署等、関係機関との連携を図ることにより、「あいさつ通り」の看板設置、「不審者対応訓練」の実施、「生活安全指導」の実施等、危機意識の育成を図ることができた。

【健康安全】

- ・体力づくりの一環として取り組んだ「町民駅伝・マラソン大会」への参加を通して学校だけの取組ではなく家庭の協力を得ることができた。

- ・中頓別国保病院のご協力による「住友院長「命の授業」、工藤薬剤師による「薬物乱用防止教室」「喫煙防止教室」等、関係者により多くの協力を頂きながら児童の健康意識を高める取組を推進することができた。

【進路指導】

- ・昨年度より高い評価を頂いた。

社会科での見学学習や今年度から取り組んだ宿泊学習（5年生）、総合の時間の体験活動等の取組が、将来の仕事への興味関心を高める機会となっている。

【特別支援教育】

- ・稚内養護学校と提携した「パートナーティーチャー制度」を活用する中で、保護者と先生との懇談を実現することができた。

- ・「気になる子ども」の指導を、今後も全校的に推進していく。

※保護者アンケートから（別紙参照）

- * 高い評価を頂いた。

内容等、別紙を参照。

※第三者評価について

- * 今年度改善した学校行事や活動、次年度の学習や取組みについて「中小の教育を考える懇談会」（3月8日）を開催し意見を頂いたが、次年度からは年間計画を提示し、学校評価に位置づけて進めたい。

平成21年度 中頓別小学校の取組 先生たちの自己評価

4段階評価（4：大きな成果があった 3：取組を進めている 2：努力している 1：努力が必要）

	内 容	平成20年度 平均	平成21年度
教育活動全般	子どもの興味・関心を大事にし、中頓別のよさを生かした教科や総合的な学習の時間の充実に努力している。	3.7	3.7
	教科ごとにバランスよく授業時数を確保している。	3.4	2.9
	家庭や地域と連携をとり、命を大切に作る心や感動する心を育てる教育活動の充実に努めている。	3.2	2.9
	子どもに合わせて、個別指導やグループ指導などができるようにした。	2.9	2.8
教 科	基礎・基本の定着をめざした授業を行う。	3.0	2.9
	よりわかりやすい授業作りのために教材を作ったり、コンピュータ、図書室などを活用する。	2.7	3.0
	ふだんの授業で課題になることを解決していく先生方の校内研修を充実させる。	3.0	3.2
	町外で開かれる各種研究会や研修会に積極的に参加している。	2.5	2.6
総 合	子どもの好奇心を引き出し、進んで学習に取り組む指導に努める。	3.3	3.2
	学習の様子をたしかにつかみ、子どものよさを伸ばす評価の工夫に努める。	3.0	3.1
道 徳	物事よし悪しが身につくような資料の工夫や、指導の改善を行う。	2.6	2.5
	学校として統一した指導ができるような、指導計画を学級ごとに作っていく。	2.5	2.7
な 行 事	仲間とともに自分らしさを発揮できるクラブ活動や行事を行う。	3.3	3.0
	子どもの活動の様子をとらえる評価の工夫に努める。	2.8	2.9
生徒指導	家庭や地域と連絡を密にし、問題行動や事故を未然に防ぐよう努める。	3.1	3.1
	子どもの悩みや問題行動を早く発見する教育相談体制をつくる。	2.9	2.7
健康安全	交通安全教育・防災教育など安全についての学習、性教育や喫煙防止などの保健指導をしっかり行う。	3.5	3.5
	子どもが自分の健康や安全への意識を高める指導の工夫に努める。	2.8	2.9
進 路	学年に応じて進路を選ぶ力を育てたり、将来の生き方や進路を考えさせる指導の充実に努める。	2.4	2.5
	資料やいろいろな情報を使い、計画的で継続的な進路相談を充実させる。	2.2	2.4
特別支援	子どもの持っている力を高め、生活や学習の苦手なところを直す指導に努める。	2.7	2.5
	子どもの求めていることを的確につかみ、効果的な指導を目指して一人一人に応じた指導計画を作る。	2.0	2.5

平成21年度 中頓別小学校保護者アンケート 集計結果 考察

* 回収率87.3%。(PTA戸数63戸。回答数55戸。)

* 回収率が昨年の95.7%と比べると8.4ポイントの減となった。
取組期間が短かったこと、取組の依頼が十分でなかった点が考えられる。

項目内容		A	B	C	D	空欄	評定
1	明るく元気な子(学校教育目標1)に育っていると思いますか。	21	31	2	0	1	3.4
		38.2%	56.4%	3.6%	0.0%	1.8%	
<p>A・Bの合計が、94.6%と高く、保護者の方の「明るく元気な子」の目標に対する評価は、高い。</p> <p>挨拶の取組や地域の中で子ども達の姿が、保護者から見て元気の良い姿が見られたのではないかと、参観日等での授業の様子などもこの様な評価の観点となっているように思う。</p>							
2	仲良く助け合う子(学校教育目標2)に育っていると思いますか。	7	37	7	1	3	3.0
		12.7%	67.3%	12.7%	1.8%	5.5%	
<p>A・Bの合計が、昨年は88.1%、今年度は80.0%と8.1%の減となった。</p> <p>全体的に、掃除や行事の取り組みなど、上級生を中心に一部非協力的だったり、自己中心的な児童もいるが、概ね「仲良く助け合う」児童のように思われる。</p> <p>今後は、項目14にもあるように、児童理解を中心とし、行事や縦割り班活動などを活用し、集団性の育成や協力性・協調性など家庭との連携も視野に入れた取り組みを意識的に展開していく必要がある。</p>							
3	よく考え工夫する子(学校教育目標3)に育っていると思いますか。	6	32	13	2	2	2.8
		10.9%	58.2%	23.6%	3.6%	3.6%	
<p>昨年度と同じ2.8の評定となった。</p> <p>基礎的・基本的な学力の定着を今後も研修などを通じて、指導力の向上を図っていく必要がある。</p> <p>児童の実態の交流から、「思考力の育成」「粘り強さの育成」を課題として押さえながら、研修部を中心としながら解決の方向性を全職員で推進していくことが必要ではないか。</p>							
4	ねばり強くやりぬく子(学校教育目標4)に育っていると思いますか。	5	29	17	2	2	2.7
		9.1%	52.7%	30.9%	3.6%	3.6%	
<p>昨年と同様の評定となったが、昨年はC評価が46.3%なのに対し今年度は30.9%と低くなりB評定も昨年より1.2ポイント高くなった。</p> <p>駅伝マラソンの取組や個人支援の取組などが、保護者に評価されているのではないかと。</p>							
5	学校は教育方針を伝えていると思いますか。	6	34	14	0	1	2.9
		10.9%	61.8%	25.5%	0.0%	1.8%	
<p>学校便り・学級通信などを通して学校の様子など伝えているとともに、個人懇談週間・参観日などでの全体懇談等、保護者と話す時間を確保しながら進めてきていることが評価されているのではないかと。</p> <p>3月に実施した「中小の教育を考える懇談会」の取組なども今後継続し、保護者の意見なども取り入れていく場を設定していく。</p>							
6	学校は、保護者の願いや期待に応えていると思いますか。	9	34	11	0	1	3.0
		16.4%	61.8%	20.0%	0.0%	1.8%	
<p>7.8.2%の保護者の方からほぼ満足の評価を頂いた。</p> <p>学級会・家庭訪問等、保護者からの要望や願いなど、見える形で改善を図っていくことが今後も大切になってくる。特にこのアンケートの中で「C」評価の高い4・5・7・15・17・18の項目の改善を図っていくことが必要か。</p>							

7	学校は、家庭への連絡をきめ細かく行なっていると思いますか。	11	27	15	1	1	2.9
		20.0%	49.1%	27.3%	1.8%	1.8%	
学級便りや学校便り、家庭への電話連絡等を通して子どものことを中心にしたきめ細かな連携をとっていると評価して頂いたが、16名の方が不十分と感じている。							
8	学校行事の時期や回数などは適切でしたか。	17	29	6	0	3	3.2
		30.9%	52.7%	10.9%	0.0%	5.5%	
高い評価を頂いた。 「中小の教育を語る懇談会」のような機会に、保護者の意見を真摯に受けとめ行事の見直しや精選に活かしていくことが大切か。							
9	子どもたちは、楽しく学習をしていると思いますか。	12	34	7	0	2	3.1
		21.8%	61.8%	12.7%	0.0%	3.6%	
保護者の方からは、高い評価を頂いた。 今後とも授業や生活の中で生き生きとした児童の育成を目指して推進していく必要がある。							
10	地域の特色を生かした学習をしていると思いますか。	18	34	2	0	1	3.3
		32.7%	61.8%	3.6%	0.0%	1.8%	
総合の発表や百周年の記念の取組などを通して、保護者から高い評価を頂いた。 次年度に向け、総合の取組や教科の学習等で地域との交流を推進していく。							
11	基礎的・基本的な力は身につけていると思いますか。	10	28	13	2	2	2.9
		18.2%	50.9%	23.6%	3.6%	3.6%	
昨年の評価より若干高くなったが、不十分という保護者は27.2%いる。 学校の課題として位置づけ、基礎基本の定着に向け実践を深めていく必要がある。							
12	子どもたちの心は豊かになっていると思いますか。	7	35	8	2	3	2.9
		12.7%	63.6%	14.5%	3.6%	5.5%	
昨年より0.2ポイント低い評定となった。 総合の学習や外部講師の活用など多くの人と出会う経験を通して心身の育成を図っているが、今後も引き続き実践していく必要がある。 また、「全校読書」や「お礼活動」等を今後も推進していきながら、人と人との関わりを図っていく必要がある。							
13	健康維持・体力向上のための活動をしていると思いますか。	9	35	9	0	2	3.0
		16.4%	63.6%	16.4%	0.0%	3.6%	
0.3ポイントの向上があった。 駅伝大会や日常の体力づくり等の取組が高い評価を得ることになった。 駅伝大気取組を時期的に継続し、長い取組にできれば、体力の向上も図れるのではないかと。							
	学校は、子ども一人一人の個性を把握していると思いますか。	3	38	9	3	2	2.8
		5.5%	69.1%	16.4%	5.5%	3.6%	

- 14 昨年より0.2ポイントの増があった。
個人面談週間の取組や学級懇談会終了時の対応など、保護者との交流できる機会が設定されていることのご案内や、保護者と相談したことによって児童の変容があった時などの交流など、日常的な家庭との情報交換がお互いの信頼関係へとつながっていくことになる。
「子ども交流」の充実や交流の焦点化を図りながら、次年度も推進していくことが必要ではないか。

15	子どもたちの悩みや問題について、学校や先生は適切に関わっていると思いますか。	4	32	15	2	2	2.7
		7.3%	58.2%	27.3%	3.6%	3.6%	
<p>昨年よりも0.2ポイント高い評価を頂いた。 研修の中で、カウンセリング的な児童理解の研修や個人面談、児童アンケート等の取組を推進しながら、子どもの内面に迫る取組を推進していくことが大切のように思う。</p>							
16	生命を大切にする心や社会のルールを守る教育をしていると思いますか。	9	38	4	2	2	3.0
		16.4%	69.1%	7.3%	3.6%	3.6%	
<p>昨年より高い評価を頂いた。 青空教室、性教育、薬物乱用禁止教室、禁煙教室、住友院長「命の授業」等を通して、保護者の関心も高まったように思う。 自転車の乗り方、校外での遊び方等、家庭地域と連携した取組をこれからも進めていく。</p>							
17	保護者同士で子育てについて話し合う機会がありますか。	3	29	17	4	2	2.6
		5.5%	52.7%	30.9%	7.3%	3.6%	
<p>昨年と比べ評価的には0.1ポイント低くなったが、项目的には「おおむね達成」が多くなっている。 今年度PTAレクを実施したが、次年度も続けながらPTA会員同士の交流を深め親同士の連携を深めたい。</p>							
18	学校へ気楽に来たり、相談できますか。	9	24	14	5	3	2.7
		16.4%	43.6%	25.5%	9.1%	5.5%	
<p>「開かれた学校」をめざし、保護者の方にも授業参観や日常の活動など、積極的に関わって頂けるような運営に努めると共に、学校に来やすい雰囲気作り、環境に努める。</p>							

平成21年度 中頓別小学校保護者アンケート 集計結果

* 回収率87.3%。(PTA戸数63戸。回答数55戸。)

項目内容		A	B	C	D	空欄	評定
1	明るく元気な子（学校教育目標1）に育っていると思いますか。	21	31	2	0	1	3.4
		38.2%	56.4%	3.6%	0.0%	1.8%	
2	仲良く助け合う子（学校教育目標2）に育っていると思いますか。	7	37	7	1	3	3.0
		12.7%	67.3%	12.7%	1.8%	5.5%	
3	よく考え工夫する子（学校教育目標3）に育っていると思いますか。	6	32	13	2	2	2.8
		10.9%	58.2%	23.6%	3.6%	3.6%	
4	ねばり強くやりぬく子（学校教育目標4）に育っていると思いますか。	5	29	17	2	2	2.7
		9.1%	52.7%	30.9%	3.6%	3.6%	
5	学校は教育方針を伝えていると思いますか。	6	34	14	0	1	2.9
		10.9%	61.8%	25.5%	0.0%	1.8%	
6	学校は、保護者の願いや期待に応えていると思いますか。	9	34	11	0	1	3.0
		16.4%	61.8%	20.0%	0.0%	1.8%	
7	学校は、家庭への連絡をきめ細かく行なっていると思いますか。	11	27	15	1	1	2.9
		20.0%	49.1%	27.3%	1.8%	1.8%	
8	学校行事の時期や回数などは適切でしたか。	17	29	6	0	3	3.2
		30.9%	52.7%	10.9%	0.0%	5.5%	
9	子どもたちは、楽しく学習をしていると思いますか。	12	34	7	0	2	3.1
		21.8%	61.8%	12.7%	0.0%	3.6%	
10	地域の特色を生かした学習をしていると思いますか。	18	34	2	0	1	3.3
		32.7%	61.8%	3.6%	0.0%	1.8%	
11	基礎的・基本的な力は身につけていると思いますか。	10	28	13	2	2	2.9
		18.2%	50.9%	23.6%	3.6%	3.6%	
12	子どもたちの心は豊かになっていると思いますか。	7	35	8	2	3	2.9
		12.7%	63.6%	14.5%	3.6%	5.5%	
13	健康維持・体力向上のための活動をしていると思いますか。	9	35	9	0	2	3.0
		16.4%	63.6%	16.4%	0.0%	3.6%	
14	学校は、子ども一人一人の個性を把握していると思いますか。	3	38	9	3	2	2.8
		5.5%	69.1%	16.4%	5.5%	3.6%	
15	子どもたちの悩みや問題について、学校や先生は適切に関わっていると思いますか。	4	32	15	2	2	2.7
		7.3%	58.2%	27.3%	3.6%	3.6%	
16	生命を大切にする心や社会のルールを守る教育をしていると思いますか。	9	38	4	2	2	3.0
		16.4%	69.1%	7.3%	3.6%	3.6%	
17	保護者同士で子育てについて話し合う機会がありますか。	3	29	17	4	2	2.6
		5.5%	52.7%	30.9%	7.3%	3.6%	
18	学校へ気楽に来たり、相談できますか。	9	24	14	5	3	2.7
		16.4%	43.6%	25.5%	9.1%	5.5%	

平成 21 年度 中頓別中学校 学校関係者評価書 (結果)

A : 満足できる B : おおむね満足できる C : どちらかといえば満足できない D : 満足できない

≪ I 目指す学校像 ①生徒一人一人が成就感や達成感を感じ、安全で楽しい居場所のある学校 ≫

21年度自己評価の観点 (質問項目)		学校の自己評価結果	自己 評価	関係 者 評 価	学校関係者の評価・コメント
1	より良い教育環境整備を充実させるための工夫・改善がなされたか。	◇保護者・生徒アンケートでもある程度評価をいただいております、学校としても一人一人の居場所ある学校づくりが、概ねできていると判断しています。しかし、「生徒の個性や実態を理解し、生徒一人一人に応じた指導を行う」ことについて保護者・生徒アンケートでまだ課題があるとされ、次年度の重点課題の1つと押さえています。 ◇ 生徒は、思いやりの足りない言動で傷ついたり、また学習や進路の悩みなども抱えている。それに対して、教職員の対応が後手に回ったり、十分応えられないこともある。学校だけで解決できない問題も多く、保護者とも、さらに連携・協力しながら指導に当たる。また、道徳や特別活動の時間を充実させさらにきめ細かな指導に取り組む。	B	B	○少ない予算の中で教職員、保護者、生徒全員で清掃等環境整備に努めている。また、生徒は、友達と協力して様々な行事や活動に取り組んでいる様子が伺える。 ●生徒が行事の企画に参加し、活動を通じて協力性や充実感を得ることはとても大事。活動の質をさらに高めることにも挑戦してほしい。また、生徒一人一人への目配りや内面を理解する努力がさらに必要。教師一人一人のより一層の頑張りを期待する。
2	学級活動や生徒会活動等において、生徒の意欲や良さ、可能性が引き出されているか。				
3	行事は指導のねらいが明確化され、生徒が企画運営に参加する取り組みになっているか。				
4	生徒一人一人に存在感や有用感を実感させ、互いに認め、助け合い、共に高め合う学級運営がなされているか。				

≪ I 目指す学校像 ②教職員一人一人の持ち味が活かされ、働きがいのある学校 ≫

5	教職員の経営参加意欲を高める協働体制が確立されているか。	◇「全ては子どものために」を出口として、教職員が互いに持ち味を生かしながら協働し合い、概ね、いい方向に学校づくりが進んでいると判断しています。保護者アンケートの「学校は、保護者・地域の声や願いに応えようと努力している」ではA評価を得た。 ◇急激に進む教育改革の流れの中で、教職員の業務量は確実に増しており、今後行事や会議時間等業務の効率化をさらに進めていくことが課題である。	B	B ○	○保護者アンケートではある程度の評価は得ているが、自己評価で厳しく見ており、そういう姿勢を持ち続けることで今後更に良くなると思う。 ●教師の指導が子どもに十分理解されていないこともあり、そうした点に十分配慮をしながら、教師の持ち味を發揮してほしい。
6	校務分掌は、教育目標の達成を目指すうえで効果的に組織されているか。				
7	諸会議は必要最低限の範囲で開催され、効率的に運営されているか。				

≪ I 目指す学校像 ③保護者や地域住民に広く開かれ、信頼される学校 ≫

8	教育目標や経営方針が保護者や地域に理解され、協力が得られているか。	◇保護者アンケートの結果などから、学校は、地域や保護者に概ね理解と協力を得て運営されている判断している。			○学校の方針や活動が学校だより等を通じて地域にきちんと知らされている。また、地域行事や取組に学校として関わ
9	「内外に開かれた学校づく				

	り」が推進され、学校評価は保護者・地域の方々にもわかりやすい内容になっているか。	◇今後、学校経営方針や1つ1つの取組等をさらにわかりやすく伝え、学校に対する理解が深まるよう努める。また、アンケートや懇談会等を通じて得た保護者や地域の方からの意見を参考にしながら学校運営を進めていく。	B○	A	ろうと努力をしている。 ●学校だけが教師の信頼を得る場ではない。休み中の生活や住宅の管理、自ら地域と関わろうとする姿勢などが大切である。転勤した先生も含めて町内行事に一度も顔を出さない先生もいました。
10	学校安全管理及び危機管理意識が高まり、それに対する計画的且つ組織的な備えができていますか。				
11	学級経営や生徒指導は、保護者や地域から理解され、連携や協力が得られているか。				

≪ II 目指す生徒像 ①自ら学び・考え・自らの課題を解決する意欲や行動力・表現力のある生徒（知育） ≫

12	教育課程は、生徒の実態に基づき、適切な「編成-実施-評価-改善」が行われているか。	◇ 生徒アンケートでは、「進んで授業・学習に取り組む」とする生徒との割合が、昨年度とくらべ比べ大幅に増えた。これまで取り組んだ授業改善や学習支援の成果の1つと判断したい。教職員の自己評価では、「授業改善の取組」「学習支援と基礎基本の定着への取組」「授業規律の共通理解」などの項目では、ともにB△評価とした。教師自身が、自らの取組や指導を厳しくとらえている証でもある。今後も「わかる・楽しい授業」を目指し、授業改善の研修や取組を続ける。同時に、保護者と連携しながら学習支援や家庭学習の定着を図る。 ◇「公平な評価」がなされているかについて、保護者アンケートではC評価の割合がやや多かった。生徒の成績評価については、厳正に行っていますが、保護者に十分理解されていない部分もあるということから、今後、さらにわかりやすい評価を心がける。	B	A	○行事などを通じて、生徒の頑張る姿が見られ、とてもよい。また総合学習の発表でも、大変よく頑張っていると感じた。テーマ設定の中の1つの課題をもう少し掘り下げてみるとさらに楽しい、深まりのある学習になる。 ●授業改善、授業づくりは大きな課題なので、すぐに効果が表れなくても、教師の研修、生徒と共同の取組、保護者の協力協働で、引き続き努力して欲しい。中学生としての学力をどこに置かかを考えると同時に、思考力の育成にもさらに力を入れてほしい。
13	授業改善が進み、生徒にとって「わかる・楽しい」授業が実践されて、基礎基本が定着したか。				
14	適切な学習支援が行われ、自学自習の態度が育成されているか。				
15	様々な評価により、生徒の変容を的確に把握し、指導に生かしているか。				
16	授業規律が共通理解され徹底されているか。				
17	総合的な学習の時間は、計画して調べ、考えまとめる力を育てる活動となっているか。				

≪ II 目指す生徒像 ②思いやりや感謝の気持ちを持って、互いに認め合い・励まし合い・高め合う生徒（徳育） ≫

18	道徳教育は道徳の時間を要として、組織的、計画的に行われているか。	◇生徒・保護者アンケートから、「嫌な思いをした」「嫌なことをした」の割合が昨年と比べて大幅に減り、「優しさや思いやり」も徐々に育ってきた。子どもの問題は、学級や部活動の中で、あるいは校外生活の中で複雑に	B	B○	○部活動を通じて、人との関わり方等が成長していければと思う。互いによきライバルとして育成し、一人はみんなのために、みんなは一人のために、そんな仲間であってほし
19	基本的な生活習慣や望ましい人間関係づくりに向け適切な指導ができていますか。				

20	部活動を通して、互いに努力し、高め合う姿勢が育っているか。	絡み合っていて起こることが多い。その都度、教職員が粘り強く指導した。生徒は全体的に落ち着きが見られ、個々の目標に向かう姿が見られるようになった。保護者アンケートでは「言葉づかいや振る舞い」の指導が不十分な点が指摘された。学校の指導と、家庭の躰が同じ目線でおこなわれる必要があり、懇談会などで話題としながら改善を図る。 ◇「道徳の時間」を充実させていくことが最重要課題の1つ。引き続き家庭とも連携を図って進めたい。			い。 ●小学生の時の人間関係がそのまま続くとは限らない。学級、部活動など様々な場面で考えさせることが大事。子どもたちは表現方法が未熟でうまくコミュニケーションが取れない場合も多い。おもしろい、感謝、責任感等を考えさせたり、話し合わせる必要がある。
21	自己実現や望ましい職業観を育成する指導が組織的・計画的になされているか。				
22	生命の尊さの理解や他人との共生・共感を大切にしている指導がなされているか。				

《Ⅱ目指す生徒像 ③途中で屈しない精神力とたくましい身体で粘り強く努力する生徒（体育）》

23	交通事故など、生徒の安全に関わる指導が適切に行われているか。	◇養護教諭を中心に関係機関との連携を取りながら、予防や啓発に努めた。特に、新型インフルエンザなど感染症対策には迅速に対応できた。日常的には、怪我や病気、心の健康相談に当たるなど保健室機能を充実させることができた。今後も、生徒の体力向上や心の健康についてきめ細かな指導をおこなう。	A	A	○部活動による体力づくりは、先生方も頑張っている。きめ細かな指導を地道におこなうことで、自らの健康管理もできるようになり大変よい。新型インフルエンザ対応も適切だった。 ●生徒の生活リズム、食生活、ゲーム、携帯など家庭との連携をさらに密にしながら子どもの健康・安全、体力づくりを進める必要がある。
24	心の健康及び性や薬物に関する指導が組織的・計画的におこなわれたか。				
25	保健安全衛生・予防に関する指導が計画的に行われているか。				

《Ⅲ目指す教師像 ①生徒の確かな変容を促す実践的指導力を培うため、日々研修に努める教師》

26	研修計画の充実に向け、教職員一人一人の意見や考えが反映され研修機会が保証されているか。	◇全職員で授業を見合ったり、教育局指導主事などに指導を受けながら研修に取り組んだ。また校外の研修会等に参加し、新しい指導法を学んだ。生徒の実態に合った授業法や授業改善に向けては多くの課題も見つかった。 ◇学ぶ意欲を高め、子どもにとって「楽しい・わかる授業」を目指し、さらに研修を充実させる。また、保護者・地域の方々にも、参観日や公開授業などに是非おいでいただき、子どもの学ぶ姿を見ていただきたい。	B	A	○子どものために研修や研究に大変よく取り組んでいることがよくわかった。「教師は実践で勝負する」更なる実践に期待する。 ●中学生という多感な時だから、指導でも難しい面があると思う。先生方が職場の中で語らい、交流する中でいい解決策も見い出せると思う。専門性を高めながら今後も努力していったほしい。
27	校内研修は、教職員一人ひとりの授業力向上に生かされているか。				
28	研修の成果が検証され、生徒の変容が把握できる手だてが取られているか。				
29	「中中の心得」や「生徒指導に関わる指導の実際」に関して共通理解が図られ、それに基づく指導が適切に行われているか。				

《Ⅲ目指す教師像 ②生徒の視点に立ち、生徒・保護者・地域社会・仲間から信頼される教師》

30	教師間で情報を共有し、問題の早期発見やきめ細やかな指導がなされているか。	◇「教職員による生徒の見取り」と「保護者との緊密な連絡」を大事にし、子	BO	B	○生徒から信頼されていることが生徒アンケートからわかる。
----	--------------------------------------	-------------------------------------	----	---	------------------------------

	かな生徒指導体制がとられているか。	<p>ども一人一人の状態などについて連絡し合い・伝え合う等して生徒理解と問題の早期発見に努めた。</p> <p>◇保護者アンケートでは「先生方は、子どもの悩みや問題に適切に関わっていない」とする結果も示された。今後は、事例研修や教育相談などを通じて生徒理解を充実させる。日常の緊密な連絡に加え、懇談会や家庭訪問の機会を利用して保護者とさらに連携を図る。</p>			<p>先生という立場は全町民から注目されるので大変だと思う。</p> <p>●生徒に夢を与え、確かな学力を育てる教師であってほしい。また、どの生徒に対しても、公平な視点をもっている先生であってほしい。</p>
--	-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

≪Ⅲ目指す教師像 ③社会の変化を的確に把握し、将来を見据えた教育に対応できる教師≫

31	小中連携が効果的になされているか。	<p>◇H24 年度から完全実施される中学校新学習指導要領への対応については、特色のある教育をしっかりと打ち出せるよう次年度から具体的な準備を加速させる。</p> <p>◇小学校から中学校へスムーズな接続ができるよう町教育研究会と連携を密にしながら小中連携・交流を具体的に進める。</p>	C	A	<p>○自己評価は低かったようだが、今後の改善点や取組が見られ頑張っていると思う。</p> <p>●厳しい時代だが「井の中の蛙」にならないよう研究会に参加したり論文を書いたり、先生方一人一人の伸長を期待する。小中連携もできるところから進めてほしい</p>
32	新学習指導要領への移行が計画的に進められているか。				

【総評】

≪めざす学校像≫

・生徒は概ね楽しい学校生活を送っていると判断している。しかし、生徒一人一人の実態に応じた指導という点ではまだ十分とはいえない。今後、生徒理解にさらに努め、指導の充実を図る。また、地域の学校として、保護者・地域に学校経営方針や経営状況をよりわかりやすく知らせるとともに、学校関係者等の意見・要望を踏まえた学校運営に努める。

≪めざす生徒像≫

・学力向上への取組を通じて生徒の学習意欲が徐々に高まってきている。今後、少人数指導の利点をさらに活かした「わかる・楽しい授業づくり」に一層努め、基礎・基本の確実な定着を図る。また、「道徳の時間」を一層充実させ、道徳教育を推進する。

≪目指す教師像≫

・日々研修に励み、「互に高め合う教師」、また生徒一人一人の視点を大切にす「信頼される教師」でありたい。新学習指導要領の完全実施に向け、生徒・地域の実態に即した中中らしさの特色ある教育課程を編成するとともに、小学校との連携・協力も具体的に進めていきたい。

これらを踏まえ、学校経営方針を見直し、本校の平成 22 年度教育計画作成していきます。

項目	主要な施策	成 果
幼少年教育	家庭教育支援	○ブックスタート 6ヶ月健診時に配付9名(1人2冊) 1歳児健診、1歳半健診、3歳児健診に読み聞かせ ○子ども会活動(第1上駒、2・4町内、あかね、旭台、宮下、3町内、6町内、8町内)
	学習機会提供	○子どもオセロ大会(子ども館と共催) 11月16日 小学生35名 ○子どもカルタ大会(子ども館と共催) 1月10日 小中学生21チーム 63名 ○子どもカルタ教室 1月7日～9日 延べ180名の参加 ○少年の主張宗谷支庁地区大会(稚内中学校) 中学生1名 7月1日 ○ジュニアリーダーコース派遣(大雪青少年交流の家・道教委主催)中学生1名 6月27日事前研修出席 8月5日～7日 体調不良のため欠席
	体験活動の推進	○そうや自然学校体験活動 【こども館支援】 ・認定こども園・春探し、押し花づくり 6月23日 こども館 3～5歳児 18名 ・児童クラブ・親子レク 8月1日 こども館 小学生、保護者 30名 ・児童クラブ・川遊び 8月6日 そうや自然学校 小学生 17名 ・認定こども園・酪農体験 9月18日 敏音知酪農家、もうもう 5歳児 14名 ・認定こども園・親子でクッキング 10月17日 そうや自然学校 幼児、保護者 40名 ・認定こども園・雪遊び 3月4日 こども館 3～5歳児 33名 【中頓別いいとこ探し隊】 ・バードウォッチング 5月16日 ふるさとの森周辺 小学生7名 ・ピンネシリ登山 6月21日 敏音知 小学生6名 ・地域ふれあい子どもキャンプ(連携事業) 7月25～27日 利尻富士町 小学生14名 ・砂金体験 8月14～15日 砂金掘体験場、そうや自然学校 小学生16名 ・もちつき体験 12月26日 そうや自然学校 小学生、保護者、地域 36名 ・雪遊び 2月13～14日 そうや自然学校 小学生、保護者 22名
	学校支援事業	○そうや自然学校、観光協会支援協力 ・中学3年生宿泊レクサポート 7月27～28日 中学校、ふるさとの森 3年生11名 ・小学2年生生活科町たんけん 11月12日 そうや自然学校 2年生16名 ・小学5年生総合的な学習 3月15日 天北厚生園 5年生15名 ○地域指導者の支援協力(学校支援地域本部) 【小学校】 ・総合的な学習の時間「中頓別探検隊」小学3～6年生 58名 昔の生活を知ろう 6月17日、18日、19日、22日 生活体験館 生活職人延べ41名 追探検 8月31日 小学校 生活職人10名 やまご編 9月14日 藤井地区 生活職人3名 ・中頓別小学校創立100周年記念凧あげ 10月19日、20日、27日、29日 小学校 全児童 生活職人1名 ・3年社会科「酪農で働くひとたち」 12月18日 豊泉地区(農場) 3年生18名 生活職人3名 ・スキー授業 1月21日～2月16日 寿スキー場 全児童 生活職人4名 ・中農高解体見学 1月29日、2月1日 上駒 全児童 生活職人1名 【中学校】 ・2年学級レク活動「魚釣り体験」 8月1日 砂金掘体験場 2年生16名 生活職人3名 ・親子ふれあい広場「そば打ち体験」 11月3日 中学校 生徒・保護者 生活職人3名 ・3年総合的な学習の時間「チーズづくり体験」 11月25日 3年生11名 生活職人1名 ・巡回相談活動「地域ルーム」 毎週木曜日 コーディネーターの派遣 教諭との連携、生徒との交流

項目	主要な施策	成 果
		<p>○学校支援地域本部事業・・・地域全体で学校支援、教員と子どもの向き合う時間を増加、住民の知識・経験や学習成果の活用機会の拡充、ひいては地域の連帯感の醸成、地域の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会議(地域教育協議会)・・・方針や支援内容等の協議2回(8月6日、1月22日) ・地域コーディネーター・・・学校とボランティア間の連絡調整等 1名 ・学校支援ボランティア(生活職人)・・・実際に学校支援活動を行う地域住民 14団体、59個人 ・学校支援地域本部事業報告会(まちづくり・生涯学習推進フォーラム)2月26日 町民センター36名
青年・成年・女性教育	学習機会提供	<p>○成人式 1月5日 町民センター 当日参加者 15名</p> <p>○英会話教室 日中:週2回(火・金曜日午後)、夜間:週1回(木曜日)</p> <p>○カンファ教室 夜間:週1回(水曜日)</p> <p>○女性学級 上駒女性学級 町外研修、料理学習、町事業への参加</p>
高齢者教育	学習機会提供	<p>○高齢者教室「寿大学」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式並びに始業式 4月10日 72名 ・教養講座 5月28日 43名、7月30日 21名、8月27日 21名、11月10日 23名 ・町外視察研修 7月13日、7月21日 遠別町(旭温泉他) 64名 ・学校祭 10月31日 文化祭に合わせて開催(作品展示、芸能発表) ・修学旅行 12月3日～4日 美瑛、旭川方面(男山酒造、旭山動物園他)16名 ・健康づくり講座 2月10日 「私の相撲人生」講師舞の海秀平氏 77名 ・卒業式並びに修了式 3月25日 70名
国際交流振興	学習機会の提供	<p>○中頓別中学校(コミュニケーション英語の指導) 毎週水曜日午前、午後</p> <p>○中頓別小学校(総合的な学習の時間等での英語指導) 毎週木曜日午前、午後</p> <p>外国語活動5～6年、ウエルカム教室3～4年、外国語交流1～2年</p> <p>○こども館(ポーセン先生とあそぼう) 毎週火曜日午前</p>
芸術文化振興	芸術鑑賞機会の提供	<p>○巡回小劇場 9月16日 ハックルベリーフィンの冒険 150名</p> <p>○町民芸術鑑賞会 10月3日 札幌交響楽団弦楽アンサンブル演奏会 200名</p>
	文化芸術への積極的参加	<p>○町民文化祭 10月30日～11月1日 一般作品展示、一般芸能発表</p> <p>○子ども発表会 10月30日 文化祭の一環として実施</p> <p>○文化スポーツ表彰 10月31日 文化功労賞:1個人 スポーツ奨励賞特別表彰:3個人</p>
	団体の育成と活動の充実	<p>○中頓別町文化協会の活動支援(14団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなみ吟社(俳句)、日本詩吟学院学風会北北海道学風会中頓別支部(詩吟)、日本習字中頓別支部(習字)、太田社中(茶道)、茶道サークル、東海林社中(華道)、陶芸サークル、絵手紙クラブ、白百合会、あかねカラオケサークル、知足会(茶道)、しあわせカラオケ会、彩北絵画クラブ、寿大学カラオケサークル ・各種会議等の開催(総会、理事会、資金造成、文化表彰、町民文化祭) ・単体団体の活動支援
指導体制・研修・養成	各種指導者研修への参加・派遣	<p>○管内社会教育指導班会議 第1回4月9日、第2回10月15日、第3回12月17日、第4回3月24日 稚内市 1名</p> <p>○管内社会教育主事会役員会 第1回4月9日、第2回2月25日 稚内市 1名</p> <p>○管内社会教育委員連絡協議会総会 4月28日 稚内市 1名</p> <p>○管内社会教育主事等研修会 第1回5月20日、第2回10月1日 稚内市 2名</p> <p>○全道社会教育主事等研修会 6月3日 札幌市 1名</p>
生涯学習の推進	生涯学習推進活動	<p>○まちづくり生涯学習推進チーム会議 第1回9月30日、第2回1月22日、第3回3月5日</p> <p>○生涯学習通信「ホットな生涯学習情報通信」広報なかとんべつの紙面に掲載</p>

項目	主要な施策	成 果
		<p>○まちづくり・生涯学習推進フォーラム(学校支援地域本部事業報告会)2月26日 町民センター 36名</p> <p>○中頓別町まちづくり・生涯学習推進本部会議 3月26日 役場 12名</p> <p>○生涯学習実践交流会セミナー 2月17日～18日 札幌市 1名</p>
スポーツ振興	学習機会の提供	<p>《大会関係》</p> <p>○春の歩くスキー遠足 4月5日 上頓別から敏音知コース(約7km) 参加者12名、指導者2名</p> <p>○町長杯パークゴルフ大会 5月10日 寿パークゴルフ場 52名</p> <p>○町民ソフトボール大会 7月12日 ふれあいスポーツ広場 5チーム 57名</p> <p>○夏休みラジオ体操会 7月25日～8月3日 中頓別小学校</p> <p>○夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会 7月29日 中頓別小学校 約500名</p> <p>○町民駅伝競技大会・小学校マラソン大会 9月6日 敏音知から中頓別 駅伝26チーム104名 小学校マラソン1・2年30名 計134名</p> <p>○宗谷地区ジュニアアルペン競技大会 1月11日 寿スキー場 40名</p> <p>○町民ソフトミニバレー大会 2月26日 町民体育館 7チーム 28名</p> <p>○町民スキー大会 3月7日 寿スキー場 スキー競技44名、歩くスキー14名、宝探し130名</p> <p>○寿ジュニアカップスキー大会 2月11日 後援と運営協力</p> <p>○教育長杯室内ゲートボール大会 3月20日 町民体育館 4チーム 25名</p> <p>《教室関係》</p> <p>○少年少女スキー教室 1月7日～9日 寿スキー場 小学生55名 指導者14名</p> <p>○一般スキー教室 1月16日、23日、24日、30日、31日、2月11日、13日 寿スキー場 参加者8名、指導者4名</p> <p>○歩くスキー教室 1月27日、2月3日、12日、17日、26日 藤井クロカンコース 参加者11名、指導者2名</p>
	団体育成と活動の充実	<p>○スポーツ少年団の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剣道(8名)、野球(7名)、卓球(9名)、柔道(17名) ・結団式及び体カテスト会 5月9日 25名 ・秋の体カテスト会 10月17日 30名 ・解団式 3月20日 <p>○体育連盟の活動支援(10団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー協会、バスケット協会、バレーボール協会、スキー協会、走友会、パークゴルフ協会、ゲートボール協会、野球連盟、剣道連盟、柔道連盟 ・各種会議等の開催(総会、理事会、資金造成、スポーツ表彰、体育の日記念事業) ・単位団体の活動支援 <p>○愛好団体の活動支援(7団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニバレーを楽しむ会、ミニバレーボール愛好会、バトミントン愛好会、卓球愛好会、育児婦人運動部、中頓別バレーボールクラブ、スポーツをしない会 ・各種大会の活動支援
	各種指導者研修への参加・派遣	○中頓別町体育指導委員会議の開催 第1回7月8日、第2回9月3日、第3回12月25日、第4回2月18日、第5回3月26日
社会教育施設等の利用	社会教育施設の利用	<p>○町民センター 無料310件 7,904名、有料27件 1,590名 ○小頓別多目的集会施設 無料36件 257名</p> <p>○郷土資料館 会館日数298日 無料244名 有料208名 ○柔剣道場 187回 1,699名</p> <p>○図書室 一般1,985名、中高生255名、小学生1,994名、計4,204名 一般4,204冊、中高生146冊、小学生2,093冊、道移動図書417冊</p> <p>○創作活動施設 有料4件 70名、無料180件 1,296名</p> <p>○町民体育館 498回 4,450名 ○学校体育館 49回 591名</p> <p>○山村水泳プール 63日 有料116名 無料1,139名 ○ふれあいスポーツ広場 824名</p> <p>○寿スキー場 84日 輸送人員44,439名 ○寿パークゴルフ場 2,066名</p>